

近世大坂商人の美術品蒐集
—升屋平右衛門「家蔵記」の分析から—

内 川 隆 志

近世大坂商人の美術品蒐集

—升屋平右衛門「家蔵記」の分析から—

A Story of an Antiquarian in the Edo Period.

内川 隆志

Takashi UCHIKAWA

1. 近世大坂の蘭学と知蘭派の人々
2. 四代升屋平右衛門（山片重芳）の出生と蘭学への関心
3. 「家蔵記」について
4. 蒐集品内容の分析
5. 入手時期にみるコレクションの傾向
6. 取次ぎ商人と品々
7. おわりに

1. 近世大坂の蘭学と知蘭派の人々

17世紀に萌芽する蘭学は、18世紀に至って徳川八代将軍吉宗在位の享保五年（1720）「洋書の禁」の緩和に始まり、医官の野呂元丈と儒学者青木昆陽に蘭語の学習命令を出して以降、いっそう興隆する。この吉宗時代から田沼時代にかけての時期は、西欧の学問研究の方法を身に付ける素地がための時代、すなわちオランダ語の理解と諸種の科学知識受容に主眼をおいた狭義の蘭学とともに、彼国より将来される蘭書や阿蘭陀物と呼ばれる品々への興味が流行した時代でもあった。前者については江戸では、大槻玄沢や宇田川玄真、玄沢の芝蘭堂塾の門人が中心となり、大坂では橋本宗吉、緒方洪庵や岡研介、高良斎といった人々や日高涼台などシーボルトの門人達による蘭学熱がある一方で、知蘭派^{註1}と呼ばれる西洋の書画や奇物をこよなく愛する人々の一群がいた。中でも特筆すべきは、木村兼葎堂（1736～1802）やここで取り上げる第四代升屋平右衛門山片重芳（1764～1836）などが、その代表である。

山片重芳とも交流のあった木村兼葎堂は、

蘭学に関しては知蘭程度の知識しか得ていなかったかも知れないが従来博物学に篤く、当時の大坂においては存在感ある町人学者であったことは誰もが認めるところである。その知名度のわりに人物、業績を伝える文献記録は少なく、交遊録『兼葎堂日記』^{註2}やその人となりは、『兼葎堂雑録』^{註3}所収の「巽斎翁遺筆」の自叙伝的記述によるところが大きい。それらの諸文献によると兼葎堂は、元文元年（1736）大坂北堀江（堀江瓶橋北詰西へ入北側）の酒造家に生まれ、名は孔恭、字は世肅、号は巽斎、通称坪井屋吉右衛門と名乗った。家系は明らかでなく僅かに増山雪齋撰の碑文によると祖先は、大坂の陣の勇将で河内道明寺の戦で討死した後藤壱岐守基次である。その子後藤吉右衛門基房は、醫を志し玄哲と號し、醫官として近衛家に出仕した人物である。基房の二子で兄の後藤玄篤は醫學を業とし、弟の後藤芳雅は大坂の町人として家を出た。兼葎堂の直系は後藤芳雅（五助芳雅）であり以降、後藤七郎兵衛芳矩、後藤延助芳昌と続き、兼葎堂の父吉右衛門重周に至る。重周は木村重直の家督を継いで木村の姓を名乗り、

以降木村姓を冒した。

実母の存在は、明和年間（1764～1772）以降まで存命であったことは兼葭堂の自記『巽齋翁隨筆』にも記載されており、菩提寺である大徳寺過去帳には「安永七戊戌十一月六日坪井屋吉右衛門母」とあり兼葭堂43歳の時に没している計算になる。兼葭堂には男子の相続人が無かったため、没後甥である坪井屋長右衛門方同居の吉兵衛という人物を養子に迎え、坪井屋長右衛門を襲名し、木村石居を名乗った。石居は名を孔陽、字を世輝と称し煎茶をよくしたといわれている。この木村石居以降の子孫の詳細な系譜は明かでないが、暁晴翁の『兼葭堂雜録概略』には、安政年間（1854～1860）に兼葭主人、四代吉右衛門の名が明らかにされていることから、少なくとも四代までは確認されている訳である。岡本撫山の『浪華人物誌』には「巽齋の後裔、今駿河静岡に住し、木村吉右衛門と称し、造酒を業とす」云々と記載されているものの、その消息は明らかにされていない。

6歳にして画を学び、11歳の永享元年（1746）頃に、片山北海（1723～1790）を訪ね、名を鶴、字を千里と名付けられた。北海は後に浪華立売掘で開塾し、兼葭堂もここに学んだ。父である吉右衛門重周は、寛延三年（1750）兼葭堂15歳の時に没しているから、以降は母の手一つで育てられたことになる。『兼葭堂雜録』の自序によれば、

予幼年ヨリ生質軟弱ニアリ。保育ヲ専ラトス。家君余ヲ憐テ草木花樹ヲ植ルコトヲ許ス。親族ニ薬舗ノモノアリテ、物産學アルコトヲ話シ、稻若水物産家中興名宣義、松岡玄達字成章號慈菴、平安人、以物産學繼若水而與アルコトヲ聞ケリ。十二三歳ノ頃、京師ニ松岡門人津島恒之進、名久成、字桂菴、號彭水、又如蘭軒、受業松岡先生、越中高岡人、法橋津島玄俊、弟松岡學頭タリ。物産ニ委コトヲ知り、コノ頃家君ノ京遊ニ従、始テ津島先生

ニ謁シ、草木ノ事ヲ問フコト一會、翌年余十五歳、家君ノ喪ニアイ、十六歳ノ春余家母ニ従テ京ニ入、再ビ津島氏ニ從學シ門人ト成ルコトヲ得タリ。之ヨリ屢書ヲ通ジ物産ノ説ヲ聞キ、津島氏モ毎歳浪華ニ下リ本草ノ會アリ、數出會ス。寶曆四年甲戌津島氏客中ニ卒ス。同社戸田齋、號旭山備前人、江戸田村元雄、坂上登、號藍水、平安直海元周名龍、越中人、ナド書ヲ通ジ考索ヲ事トス。近キ頃平安蘭山小野希博字以文ニ從テ、益名物ノコトヲ究ム。

と記し、親族の薬屋より物産学のことを聞き、稻若水、松岡玄達の名を知った、12、3歳には津島恒之進（如蘭・桂庵）に会い、宝暦元年（1751）16歳の春上洛し、恒之進に入門した。ここで木内石亭と机を共にしている。

また、物産学を志すと同時に、6歳の頃から狩野派の画家大岡春卜（1680～1763）について『芥子園画伝』や『明朝紫硯』などを習い唐画を志した。12歳の頃には長崎の南蘋流画家、黄檗僧鶴亭より花鳥画を学び、18歳で名付け親である片山北海門下に入り、漢詩を学び、その頃、柳沢淇園（1704～1758）と交流し、文人画を池大雅に学んだ。兼葭堂は、宝暦八年（1758）22歳の頃より自宅で詩会を催し、明和二年（1756）の「混沌社」結成後は、漢詩の世界にも没頭した。28歳の宝暦十三年（1736）には、『山海名産図会』を出版し、兼葭堂の名は衆目を集めることとなった。

兼葭堂の真骨頂は、様々な物を集めるところにある。その内容は『兼葭堂雜録』にも記しているように「本邦唐山金石碑本、本邦古人書畫、近代儒家文人詩人、唐山眞蹟書畫、本邦諸國地圖、唐山蠻方地図、草本金石珠玉蟲魚介鳥獸、古錢、古器物、唐山器具、奇ヲ愛スルニ非ズ、專ヲ考索ノ用トス。蠻方異産。右ノ類アリトイヘドモ、ミナ考索ノ用トス。他ノ艶飾ノ比ニアラズ。」とあるように、大

きく分けて、書画・古地図・天産資料・古器物に分類できる。これらの蒐集品は、「余嗜好ノコト専ラ奇書ニアリ。名物多識ノ学、其他書画碑帖ノコト、余微力カトイヘドモ、数年来百費ヲ省キ取ル所書籍ニ不足ナシ。過分トイフベシ」と明言するように、単なる奢侈品としてのものではなく博物学研究のための資料とし、『兼葭堂雑録』の編者、暁鐘成(1793~1860)も兼葭堂のコレクションを評して「栄耀放蕩の所為にはあらず」と記している。

兼葭堂が断片的に残した蒐集記録には、中国や朝鮮の品々に混じってオランダ渡りの物品が色を添えており、^{註4}知蘭派の側面を垣間見せている。

本論は、近世大坂を代表するもう一方の大家、豪商升屋四代平右衛門(山片重芳)の蒐集品記録である「家蔵記」の分析を通して、該期の蒐集家の嗜好を明らかにすることに主眼をおいている。既に山片重芳研究の泰斗有坂隆道博士の先駆的研究^{註5}に、私見を交えて統計的な分析を添えるような内容ではあるが、博士のお導きどおり「要するに原本をできるだけ原文どおり忠実に掲載すればよいことになる。そのかわり、読者はこの目録を丹念に検索して珠玉を見いだして頂かなければならないことになるわけである。」と記されているとおりの海容なお言葉に甘んじ、筆者なりに「家蔵記」を分析させていただいた訳である。蘭学興隆期にあって先進的文化人である豪商主人の物品に対する嗜好性、あるいはそれらを取次いだ専門商人の動向、専門性を明らかにすることに改めて意義を覚えるところであり、日本博物館学史への史料蓄積を目的とするものである。

2. 四代升屋平右衛門(山片重芳)の出生と蘭学への関心

近世大坂は、堂島米市場に代表されるが如

く商業資本の進展にともなって投機性に富む米取引から莫大な利潤を生み出し、豪商と称される幾多の富裕家を輩出した土地柄である。升屋は、堂島米市場で五仲買に挙げられる豪商であり、鴻池らと並び称される全国諸藩の大名貸として君臨した。その家祖は、摂州島上郡高槻冠馬場邑在の宮本仁兵衛に始まる。その子の一人が京都綾小路に住して山形屋を号し、中川七兵衛家の初代となる。七兵衛の子光重は、元禄七年(1694)大坂堂島中一丁目に住し、升屋山片家の初代となった。享保二年(1717)より平右衛門を名乗り、今日に至るまで襲名されている。初代平右衛門の動向を知るべき史料は、断片的であるが初代が商売を始めた元禄七年頃における大坂淀屋米市場の活況から、さらに元禄十年(1697)には堂島新地に移っての米取引市場の拡大^{註6}は升屋を大いに成功に導くものであった。

懐徳堂出身の町人学者山片蟠桃(1748~1821)は、升屋の大番頭を勤めたことで知られている。その名、蟠桃も升屋の番頭をもじって号とした。いうまでもなく懐徳堂は、富永芳春(通称道明寺吉左衛門)をはじめとする町人たちの力によって、享保九年(1724)に創設され明治二年(1869)までの146年間続いた近世大阪を代表する学問所であり、蟠桃をはじめ富永仲基、草間直方といった碩学を輩出したことで適塾と並び賞される。蟠桃は、寛延元年(1748)播磨国印南郡米田町神爪村、長谷川小兵衛・同のぶの二男として生まれ、初代升屋平右衛門の時代にその別家となった九兵衛家へ宝暦十年(1760)養子に迎えられ第四代久兵衛となり、別家升屋久兵衛家の二代・三代は何れも蟠桃の叔父、初代はまた二代・三代の叔父という縁戚関係にあった。蟠桃は、九兵衛、ついで七郎左衛門と称し、享和四年(1804)正月に小右衛門を称するようになった。本姓長谷川氏、初名有躬で文化二年(1805)八月幾年の功勞を賞され異

例の抜擢を受け、別家から親類次第に取り立てられ、本家の山片姓と主人の重芳の名を拝受し山片芳秀と名乗り、文政四年（1821）に74才で歿するまで、主家に尽くすことを怠らなかつた。

本家升屋平右衛門第四代山片重芳（1764～1836）は、明和元年（1764）生まれ、わずか8才で家督を継ぎ、別家蟠桃の助けを受けて升屋の名声を世に高らしめた。封建的危機にあえぐ仙台藩の財政建て直しに多大な貢献をなし、さらには全国諸藩の大名貸としての位置を堅持したのも蟠桃の敏腕に依るところが大きかった。重芳の学問的教養もまた蟠桃に負うところ大であり、海保青陵は、『稽古談』巻二に「升小ハ学者ナリ、升平モヨキ学問ナリ、身上ヲヨフスルハヅナリ」と賞するほど升小（升屋小右衛門＝山片蟠桃）と升平（四代升屋平右衛門＝山片重芳）の学問を賞賛し

ている。^{註7}

山片重芳の蘭学への関心とその知識等の高さを示す史料として、寛政十年（1796）十一月二十六日、大槻玄沢の芝蘭堂における新元会（阿蘭陀正月を祝会）（第1図）の際、余興に作られた「蘭学者相撲番付」（早稲田大学図書館蔵）がある。（第2図）記載の80名の内、大坂人は山片重芳（前頭十枚目）のほか橋本宗吉（小結）、兼葭堂木村多吉郎（前頭二十四枚目）があり、蘭学に関して特に優れた著書のない重芳が江戸の蘭学者や愛好家のなかで相当の知名度を持っていたことが窺える。大槻玄沢との接点は、寛政七年（1795）に32歳で初めて仙台に下向した往路の二月十六日午後から十九日朝までの中二日という短期間の多忙を縫って大槻玄沢を訪ね質疑することから知遇を得ている。この時、酒肴を交えて蘭談に気炎をあげ禽獸蟲魚の蕃書



第1図 第1回新元会図（市川岳山筆）『大坂蘭学史話』 中野操所載



第2図 蘭学者番付 (早稲田大学図書館蔵)

『^{ヨンストンス}勇斯東私^{註8}』を見たことなどが彼の旅日記『^{ヨンストンス}旅譚』に記録されている。後には、重芳からシヨメールの『居家纂要』を送ったり、玄沢の住宅と塾舎が火災を被った際、その新築経費を融通するなどし、その立替金の謝礼に西洋の書物を送りなどして信頼と友情を深める仲となった。『^{ヨンストンス}勇斯東私』が重芳の蔵書中に遺されてことなどは、このような経緯の中で重芳に送られたものとも推察される^{註9}。さらに、同年仙台からの帰路、一カ月近く江戸に滞在し、その間、岡・仙台・金屋（館林）の諸侯に謁したり、白河侯の別業に招かれもし

ている。四月二十五日には司馬江漢を訪ね「蘭談数刻。盃ヲ傾テ酔フ。」とあり蘭学についての熱心なやりとりが聞こえてくるようである。

木村兼葭堂との交友については頻繁な行き来は認められないものの「家蔵記」51の「明清人書画扇一面 一箱 代金四両三步 右者兼葭堂所持之所譲受ル」とあるなど物のやりとりもあったようだ。入手時期が寛政七年（1795）前後と推察され、『兼葭堂日記』^{註10}寛政八年（1796）八月廿八日の条に「八ツ時升屋平衛門始行ク招カレ行」欄外には「升屋ハ山

片氏重芳」と記載されているところからこの時の交流の中で重芳に譲ったものかもしれない。『兼葭堂日記』によれば安永七年六月廿八日の条に「升屋平右衛門」の記載があり、44歳の兼葭堂と16歳の重芳が会っているが自宅に招かれたのは、この時が初めてのようである。重芳の家宅は、天明四年（1784）三月朔日の火災で堂島中一丁目から梶木町に移り、寛政四年（1792）五月十七日再度火災を被っており、兼葭堂の訪れた寛政八年（1796）頃は灰燼に帰した蒐集品を再構築しようとした時期であったろう。この時兼葭堂60歳、重芳32歳、兼葭堂の圧倒的な蘭学や博物学の知識と物に刺激され、後に大成される蒐集に少なからず影響を与えたことは想像に難くない。

重芳と交流の深かった大槻玄沢は、天明五年（1785）と六年（1786）に長崎遊学の往復に、しばし兼葭堂を訪れている。『兼葭堂日記』天明五年（1785）十月廿四日「大槻玄沢来ル」、十月廿五日「大槻玄沢見舞」、十月廿六日「大槻玄沢来ル昼食」、十月廿八日「大槻玄沢宿」、十一月四日「大槻玄沢暇乞来」、十一月六日「大槻玄沢来不遇」、天明六年（1786）四月十五日「大槻玄沢中食出シ」、四月十六日「大槻玄沢来宿」、四月廿一日「大槻玄沢暇乞来」など、在坂の際には幾度となく兼葭堂を訪ね、食事を共にしたり一泊したりして蘭談を交わしたのである。兼葭堂の書『一角纂考』に与えた序文には「余ト浪華之木君世肅トハ千里之交リヲ為スコト巴ニ久シ」とある。知蘭派の二人が前述の先に示した「蘭学者相撲番付」に掲載された経緯もこのような大槻玄沢との親密な交友の結果と見て大過なかならう。

3. 「家蔵記」について

山片重芳には、著書はないものの重芳が自ら記した升屋歴代の蔵書記録、蒐集品目録な

どが残されており、これらの目録原本の詳細な分析に関しては有坂隆道博士の研究がある。これによると重芳覚帳（一）の末尾に記載される「書物目録」といわれる504部の蔵書目録と蒐集品を記録した重芳覚帳（四）および重芳覚帳（五）^{註11}の二冊があり、（四）には外題に「諸道具」とあり、茶道具を始めとした主に美術品類の目録となっている。目録は、懸物・香器・蓋置・茶器・茶匙・茶碗・鍔并鎖・建水・花器・水指・土鍋・菜籠・屏風・水次・香炉・杓立・茶匣・釜・研筥并硯・文匣・卓・風炉・炉縁・皿鉢・猪口・南京今利類茶碗・漆器家具類・灰并台類・研蓋并乱箱・広蓋類・銚子并鍋徳利類・燭台・煙盤・重匣・提重并弁当類・野風炉・刀懸并手拭掛・火鉢并火入付込・二番漆器類付込并面々盆・懸物二番・研匣二番・懸物二番（三番）と、41種類の諸道具、器物類を分類し、名称・由来・取次・金額等といった事項を簡潔に記載したものである。（五）には外題に「諸価 □（不明）」とあって、内題には「家蔵記」と記されるがごとく、千点以上にも及ぶ家蔵の蒐集品の入手記録および目録が明かとなっている。内容的には（四）「諸道具」と重複する物もあるが、さらに広範な道具類を含む蒐集品について物品名・数量・解説・代価・取次者名・入手事情などが記載されている。

今回、分析対象として「家蔵記」にのみ絞った理由は、数量が多く、なおかつバラエティに富み、ほぼ年代順の記録であること、さらには代価・取次者名・入手事情などがこと細かに記載されているところから多角的に分析できるものと見做したからである。無論「諸道具」の内容分析は、山片重芳の美術品蒐集の嗜好を検証する意味で重要であるが、煩雑を避けるため「家蔵記」に限定した。

なお、巻末に一覧表を付したが基本的には有坂隆道博士の示した「家蔵記」原本に分類

を付し、料金と取次を別表に組み入れた。さらに原本では、取次（購入先）記載が略されている場合が多く煩雑であるため、有坂隆道博士の記載に従って下の凡例の如く可能な限り姓名を明記することにした。なお、文中に登場する升屋の縁者等の人名については詳細を割愛する。

正空・匹空・匹もく・ひき空…正田空兵衛
(唐高麗物屋)

匹善・ひき善・匹せん・匹せん…正田善兵衛
(茶屋)

加忠・加、忠・か、忠…加賀屋忠兵衛
(唐高麗物屋)

加、善・か、善・加、せん・か、せん…
加賀屋善蔵（書物屋）

笠宗・かさ宗…かさや宗兵衛
(道具家具屋)

墨平…墨屋平兵衛（瀬戸物屋）

長文…長浜屋文次（刀屋）

上幸…上村屋幸八（刀屋）

越林…越後屋林輔（香具屋）

俵竹…俵屋竹吉

はり九…はりまや九兵衛

間与・相与…江戸間物屋与兵衛

松与…相州松崎屋与兵衛

銭又…銭屋又兵衛

4. 蒐集品内容の分析

蒐集品の大分類は大まかに以下のとおりとした。なお、資料総数は原本通し番号では1,037項目であるが、286番に種類を異にする4品が含まれることなどから数値的に1,040項目の資料が分析対象となっている。各項目の表現は「点」となっているが、これは、家蔵記の一項目を示すものであり数値的に全てが1点を示すものではない。書籍類(A)・地図類(B)・標本類(C)・模型類(D)・武器、刀装具類(E)・服飾(F)・調度、什器類(G)・酒器類(H)・喫煙道具類(I)・茶道具類(J)・香

道具類(K)・花器類(L)・書画、美術品類(M)・文房具類(N)・楽器類(O)・仏像、仏具類(P)・その他の工芸類(Q)・観測機器類(R)・精密機器類(S)・その他(T)

さらに大分類の内容を以下のとおり細目分類し、内容の詳細を整理を試みたが、分類基準が甚だ不明解なものも含まれている。例えば、調度、什器類(G)の中には陶磁器やガラス製品等の中に多分に美術工芸品の要素を含むものもあるが什器として一括している。

A 書籍類

B 地図類

C 標本類

- a 考古（瓦類）
- b 考古（その他）
- c 鉱物
- d 化石（貝類）
- e 化石（植物）
- f 化石（甲殻類）
- g 貝類標本
- h 植物標本
- i 動物標本
- j 鳥類標本
- k 甲殻類標本
- l その他

D 模型類

E 武器・刀装具類

- a 太刀
- b 刀
- c 脇差
- d 短刀
- e 薙刀
- f 剣
- g 弓矢・鏃
- h 鏢

近世大坂商人の美術品蒐集

- i 目貫
 - j 小柄
 - k 鞆・拵
 - l 鎗
 - m 縁頭
 - n 刀懸
 - o 素材等
 - p 馬具
 - q 甲冑類
 - r その他
- F 服飾類
- a 衣服類
 - b 布地・素材
 - c 帯留類
 - d 装身具類
 - e その他
- G 調度・什器類
- a 陶磁器
 - b 漆工
 - c 金工
 - d 硝子製品
 - e 木工
 - f 織物（繊維）
 - g 皮革製品
 - h 家具
 - i 道具類
 - j 石製品
 - k その他
- H 酒器類
- a 陶磁器
 - b 漆工
 - c 金工
 - d 硝子製品
 - e その他
- I 喫煙道具類
- a 煙草入
 - b 煙管
 - c 煙草盆
 - d 鼻煙壺
- J 茶道具類
- a 茶碗
 - b 茶入
 - c 茶箱
 - d 釜
 - e 手取釜
 - f 鉄瓶
 - g 風炉
 - h 服紗
 - i 水指
 - j その他
- K 香道具類
- a 香合
 - b 香炉
 - c 香箱
 - d 香
- L 花器類
- M 美術工芸品類
- a 日本画（掛物）
 - b 日本画（絵巻物）
 - c 日本画（浮世絵）
 - d 日本画（画帖）
 - e 日本画（屏風）
 - f 日本画（襖絵）
 - g 日本画（その他）
 - h 中国画
 - i 蘭画
 - j 蘭画（硝子絵）
 - k 書（日本）
 - l 書（中国）
 - m 工芸（根付）

近世大坂商人の美術品蒐集

- n 工芸 (印籠)
- o 工芸 (巾着・胴乱)
- p 盆石
- q その他

N 文房具類

- a 筆
- b 筆立
- c 墨
- d 文箱
- e 文鎮
- f 硯
- g 硯箱
- h 研屏
- i 水滴
- j 印・印材
- k 印肉入
- l その他

O 楽器類

- a 笛
- b 蛇味線
- c 琵琶
- d オルゴール
- e その他

P 仏像・仏具類

- a 仏像
- b 仏具

Q その他の工芸

- a 玉類
- b 玩具類
- c 漆工
- d 金工
- e 硝子工芸
- f 木工
- g 素材
- h その他

R 観測機器類

- a 天文観測機器
- b 気象観測機器
- c 望遠鏡
- d 磁石類
- e 測量機器
- f 顕微鏡
- g その他

S 精密機器類

- a 時計
- b 時計付属品
- c その他

T 実験機器類

U 医療機器類

「家蔵記」に記載されている蒐集品全体の傾向は、国内の物品が58%、中国、欧州を含めた海外の物品が42%となっている。(第3図) 何れにしても統計的数値として42%もの品々が中国、朝鮮、オランダ、イギリスといった異国趣味を反映した品々であることに重芳の嗜好を再認識するところである。その内訳は国内 (J) 605、中国 (C) 104、朝鮮 (K) 13、オランダ (H) 116、イギリス (U) 15、フランス (F) 8、不明・その他 (O) 180 (国外の物で帰属の不明確なもの) である。

蒐集品全体の傾向 (大分類) は、棒グラフに示したとおりである。(第4図) G (調度・什器類) が突出しているのは陶磁器、漆器といった日常什器類が数量的に多いことに起因している。

A (書籍類)

32点で、総数の3.1%を占める。

B (地図類)

4点で、総数の0.4%を占める。

C (標本類) (第5図)

146点で、総数の14%を占める。内訳は考

古資料が52点で標本類全体の36.4%を占め、特に各地出土のa(瓦類)の比率が高く41点で、考古資料の中では79.6%と大半を古瓦が占めている。中でも仙台藩との関係から多賀城の古瓦が8点と多い。b(その他)土器・陶器や矢根石(石鏃)、管玉、金環、古鏡、土鏡、古鈴といった考古資料が11点で20.6%を占める。

c(鉱物)は39点で、標本類全体の26.7%を占める。その内9点(182・197・191・192・193・195・198・201・202)は、寛政十二年(1800)に「仙台5久五郎相登ス」とありおり升屋の縁者村上久五郎が携えたものである。大半は縁者が携えてきたもので商人を通じて入手したもの(341・375・727 疋田奎兵衛)は極く少ない。

化石類は21点で、標本類全体の14.7%を占める。内訳はd(化石貝類)8点、e(化石植物)12点、f(化石甲殻類)1点である。大半は寛政十二年(1800)、享和二年(1802)前後に村上久五郎及び仙台藩縁者によってもたらされたものである。

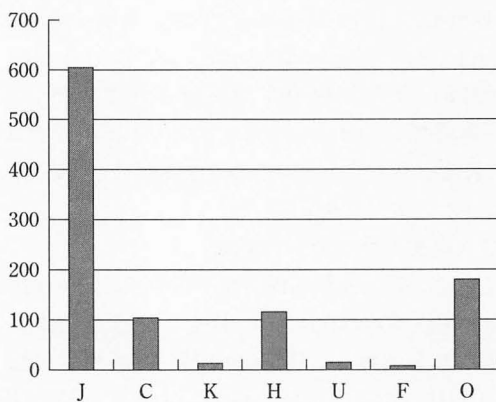
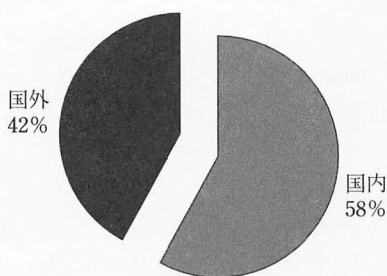
g(貝類標本)は8点で、標本類全体の5.5%を占める。疋田奎兵衛取次南洋産の大シャコ貝(257)などは、銀45匁で購入されたものである。

h(植物標本)は7点で、標本類全体の4.8%を占める。南洋の椰子材(400)が含まれている。

i(動物標本)は8点で、標本類全体の6.2%を占める。熊や豹動物の皮革が中心で、鯨の骨格標本(437)や珊瑚(551)も含まれる。

j(鳥類標本)は7点で、標本類全体の4.8%を占める。何れも剥製標本ではなく、鳥類の羽根が大半で、酒器に用いた駝鳥の卵(165)も含まれている。

k(甲殻類標本)は、415の平家蟹1点、l(その他)(158 土壌か)3点である。



第3図 内外の別とその内訳

D(模型類)

2点(31 箕山手製地球、724 エトロフ船雛形)で、天文学にかかる国産地球儀と船の縮小模型が含まれる。総数の0.19%を占める。

E(武具・刀装具類)(第6図)

82点で、総数の7.9%を占める。内訳はa(太刀)3点、b(刀)1点、c(脇差)2点、d(短刀)8点で、武具・刀装具全体の10.8%を占める。短刀の中には、南蛮小刀(471)など外国製品も含まれている。e(薙刀)1点、f(剣)3点で、蛮製刺刀(520)、和蘭剣(38)などが含まれている。g(弓矢・鏃)20点、i(目貫)7点の内、ロシアの金貨を目貫に転用したものも認められる(235)、j(小柄)8点、k(鞘・拵)1点で、武具・刀装具全体の25.3%を占める。l(鐙)2点、m(縁頭)4点、n(刀懸)2点、o(素材等)5点、p(馬具)

1点、q（甲冑類）2点、r（その他）6点である。刀剣類は太刀や刀より短刀が多く、刀装具では鞘や拵、目貫や小柄が多い傾向にある。

F（服飾類）（第7図）

31点で、総数の2.9%を占める。a（衣服類）8点の内、蝦夷関連の衣服が3点（39・40・230）含まれる。b（布地・素材）は16点で、服飾類全体の51.6%を占め、各地の更紗（83・84・322・340・427・850）やラシャ（306）など各種の布地が含まれている。c（帯留類）は3点（122・219・406）で、d（装身具類）はオランダ製の指輪が1点（403）、e（その他）が3点である。

G（調度・什器類）（第8図）

235点で、総数の22.6%を占める。その内、a（陶磁器）は50点で、調度・什器類全体の21.3%を占める。陶磁器の内、中国製品が22点あり、陶磁器全体の44%、オランダ製品は13点で、陶磁器全体の26%、日本製品は11点で、陶磁器全体の22%、朝鮮、その他が4点で8%である。中国、オランダ製品の総数は35点で陶磁器全体の70%を占めることからその嗜好が看取され、50点の内、16点は正田奎兵衛の取次である。

b（漆工）は39点で、調度・什器類全体の16.6%を占め、そのほとんど日本製である。重箱（372・683・686・704・759・919）や弁当箱（474・527・528・691・）、椀や膳など実用的な什器が多い。

c（金工）は44点で、調度・什器類全体の18.7%を占め、燈籠（60・239・254・336・530・635）などの灯火器や外国製のコップ（252・298・432・397・709）なども特徴的である。

d（硝子製品）は24点で、調度・什器類全体の10.2%を占め、大半の19点は外国製品である。器種はコップ（142・352・396・397・408・447・457・709）が多い。

e（木工）は22点で、調度・什器類全体の9.4%を占める。

f（織物・繊維）は、13点で、調度・什器類全体の5.5%を占める。イギリス製品の毛織りの敷物（343）や段通（920）は、それぞれ6両2分と4両3分と高額な品物である。

g（皮革製品）は、13点で、調度・什器類全体の5.5%を占め、箱類（346・508・579・970・991）が多い。

h（家具）は7点で、調度・什器類全体の2.9%を占める。

i（道具類）は4点で、調度・什器類全体の1.7%を占める。

j（石製品）は3点で、調度・什器類全体の1.2%を占め、何れも石灯籠である。

k（その他）は13点で、調度・什器類全体の5.5%を占める。

H（酒器類）（第9図）

調度・什器類に含まれるが数量的に多く認められ、飲酒を好む者にとっては嗜好を凝らす物ゆえ独立させた。

45点で、総数の4.3%を占める。

a（陶磁器）は22点で、酒器全体の4.88%を占める。器種的には、徳利（251・402・416・360・513・723・1004）や猪口（822・840・912・913・921・1024）が多く、中国製品が9点、オランダ製品が7点、日本製が6点であり、全体の72.7%が外国製品であるところに特質が認められる。

b（漆工）は7点で、酒器全体の15.5%を占める。器種には、杯（879・886）や坏台（475）、酒樽（664・734）などが認められる。全て日本製である。

c（金工）は2点のみで、酒器全体の4.5%を占める。器種は杯洗（426・636）のみである。

d（硝子製品）は8点で、酒器全体の17.7%を占める。1点を除いて全て外国製品で、器種は、徳利（302・898・934）、猪口（409・

818・941)が多い。

e(その他)は6点である。

I(喫煙道具類)(第10図)

20点で、総数の1.92%を占める。

a(煙草入)は、4点で、喫煙道具類全体の20%を占める。

b(煙管)は2点で、喫煙道具類全体の10%を占める。

c(煙草盆)3点で、喫煙道具類全体の15%を占める。

d(鼻煙壺)11点で、喫煙道具類全体の55%を占める。清朝に流行った鼻煙壺は、硝子小瓶に極彩色の細密画を施したものが多く、実用品としてではなく美術品として蒐集されたものと考えられる。

J(茶道具類)(第11図)

86点で、総数の8.26%を占める。

a(茶碗)は10点で、茶道具類全体の11.6%を占める。中国(300・446・776・885・890・891)や朝鮮(584)、オランダ(421・518)など外国製品が多く認められる。

b(茶入)は5点で、茶道具類全体の5.8%を占める。

c(茶箱)は5点で、茶道具類全体の5.8%を占める。

d(釜)は3点で、茶道具類全体の3.4%を占める。

e(手取釜)は9点で、茶道具類全体の10.4%を占める。

f(鉄瓶)は24点で、茶道具類全体の27.9%を占め、何れも日本製である。鉄瓶は本来、茶道具に数えず、日常什器に分類すべきものかもしれないが、形状や文様が様々で日常什器の金工とするには若干違和感を持ったためここに分類した。

g(風炉)は11点で、茶道具類全体の12.8%を占める。

h(服紗)は12点で、茶道具類全体の13.9%を占める。

i(水指)は2点で、茶道具類全体の2.32%を占める。

j(その他)には、釜の蓋(662)や鉄瓶蓋(775)など5点を数え、茶道具類全体の5.81%を占める。

K(香道具類)(第12図)

21点で、総数の2%を占める。

a(香合)は8点で、香道具類全体の38%を占める。

b(香炉)は10点で、香道具類全体の47.6%を占める。

c(香箱)は2点で、香道具類全体の9.5%を占める。

d(香)1点で、香道具類全体の4.7%を占める。

L(花器類)

16点で、総数の1.5%を占める。

唐物の花入(328・665・719・751・816)やオランダ製の花器(205・541・1000・1012)などが含まれる。

M(美術工芸品類)(第13図)

119点で、総数の11.4%を占める。

a(日本画(掛物))は37点で、美術工芸品類全体の31.1%を占める。重芳覚帳(四)「諸道具」懸物に190点の記載があり、内容的な分析は、「諸道具」の分析によらなければならないが、光琳(476)や等伯(573)など大家の名前が散見される。

b(日本画(絵巻物))は8点で、美術工芸品類全体の6.7%を占める。

c(日本画(浮世絵))は1点(741)で、美術工芸品類全体の0.8%を占める。

d(日本画(画帖))は3点で、美術工芸品類全体の2.54%を占める。源氏五十四帖(604)などの希観品も認められる。

e(日本画(屏風))は6点で、美術工芸品類全体の5%を占める。

f(日本画(襖絵))は1点で、美術工芸品類全体の0.8%を占める。

近世大坂商人の美術品蒐集

g (日本画 (その他)) は2点で、美術工芸品類全体の1.6%を占める。

h (中国画) は、9点で、美術工芸品類全体の7.5%を占める。

i (蘭画) は10点で、美術工芸品類全体の8.4%を占める。

j (蘭画 (硝子絵)) は6点で、美術工芸品類全体の5%を占める。

k (書 (日本)) は9点で、美術工芸品類全体の7.5%を占める。

l (書 (中国)) は4点で、美術工芸品類全体の3.38%を占める。

m (工芸 (根付)) は7点で、美術工芸品類全体の5.8%を占める。

n (工芸 (印籠)) は4点で、美術工芸品類全体の3.4%を占める。

o (工芸 (巾着・胴乱)) 6点で、美術工芸品類全体の5.1%を占める。

p (盆石) は2点で、美術工芸品類全体の1.7%を占める。

q (その他) は3点で、美術工芸品類全体の2.5%を占める。

N (文房具類) (第14図)

24点で、総数の2.3%を占める。

a (筆) は1点 (120) で、文房具類全体の4.1%を占める。

b (筆立) は1点 (942) で、文房具類全体の4.1%を占める。

c (墨) は2点で、文房具類全体の8.3%を占める。

d (文箱) は3点で、文房具類全体の12.5%を占める。

e (文鎮) は1点 (615) で、文房具類全体の4.1%を占める。

f (硯) は3点で、文房具類全体の12.5%を占める。

h (研屏) は1点 (807) で、文房具類全体の4.1%を占める。

i (水滴) は2点で、文房具類全体の8.3%

を占める。

j (印・印材) は4点で、文房具類全体の16.6%を占める。

k (印肉入) は1点 (672) で、文房具類全体の4.1%を占める。

l (その他) は2点で、文房具類全体の8.3%を占める。

O (楽器類) (第15図)

17点で、総数の1.63%を占める。

a (笛) は2点で、楽器類全体の11.7%を占める。

b (蛇味線) は1点 (347) で、楽器類全体の5.8%を占める。

c (琵琶) は1点 (631) で、楽器類全体の5.8%を占める。

d (オルゴール) は11点で、楽器類全体の64.7%を占める。全て舶来の製品で、高価なもので、20両以上 (910・944・1014・1019) の品々も認められる。

e (その他) は2点で、楽器類全体の11.7%を占める。

P (仏像・仏具類) (第16図)

10点で、総数の0.96%を占める。

a (仏像) は8点で、仏像・仏具類全体の80%を占める。

b (仏具) は2点で、仏像・仏具類全体の20%を占める。

Q (その他の工芸) (第17図)

玩具や雑多な工芸品を一括して分類したもので、68点を数え、総数の6.5%を占める。

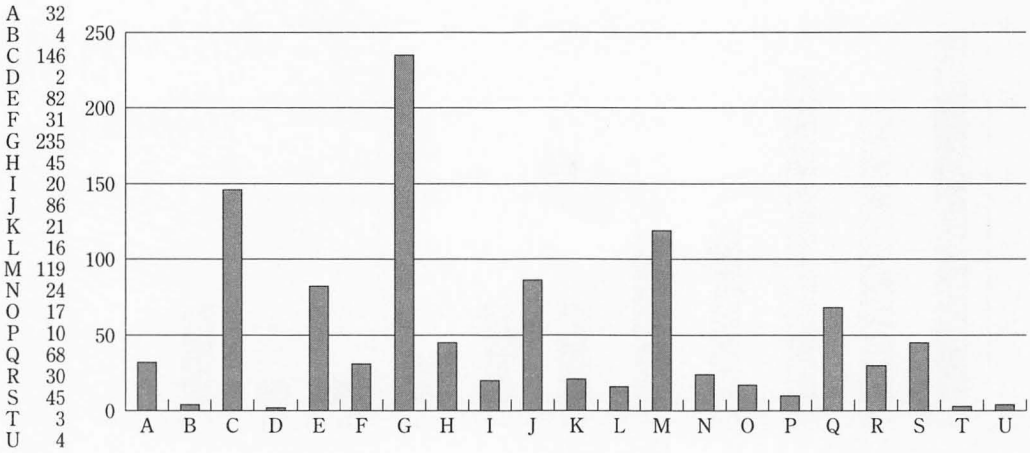
a (玉類) は7点で、その他の工芸全体の10.3%を占める。何れも中国製と思われる。

b (玩具類) は4点で、その他の工芸全体の5.9%を占める。オランダ製のからくり人形 (967・1015) や陶製人形 (58) などがある。

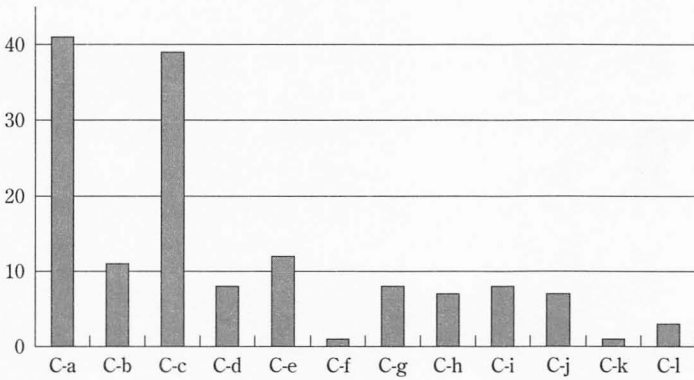
c (漆工) は1点 (747) で、その他の工芸全体の1.47%を占める。

d (金工) は12点で、その他の工芸全体の

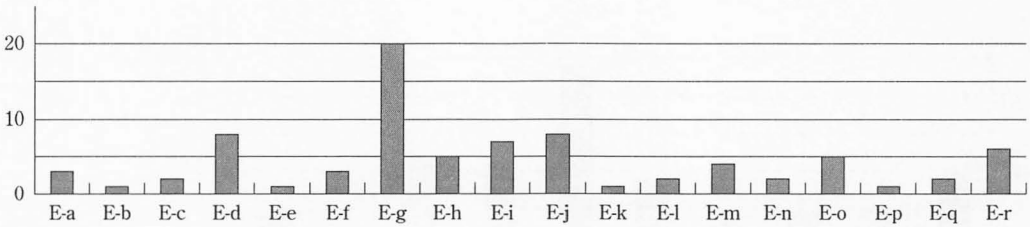
近世大坂商人の美術品蒐集



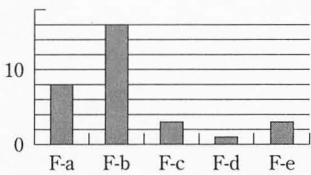
第4図 大分類にみる蒐集品の傾向



第5図 C (標本類)

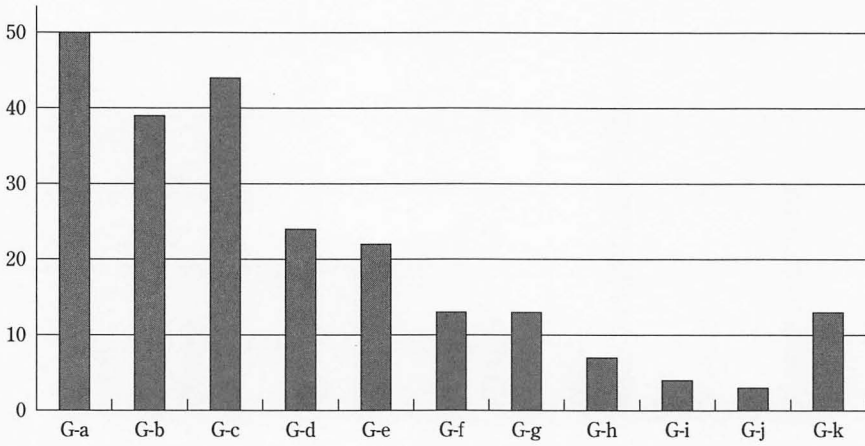


第6図 E (武具・刀装具類)

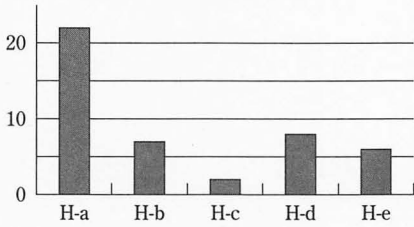


第7図 F (服飾類)

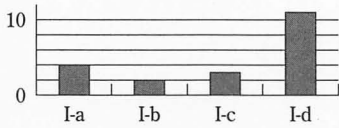
近世大坂商人の美術品蒐集



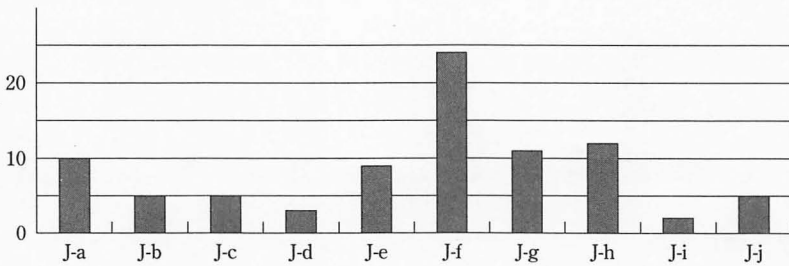
第8図 G (調度・什器類)



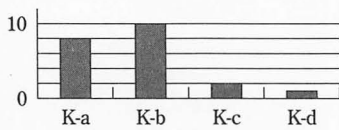
第9図 H (酒器類)



第10図 I (喫煙道具類)

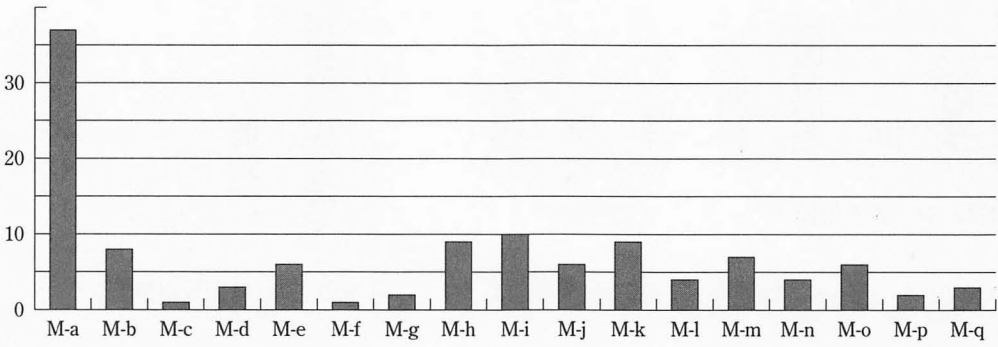


第11図 J (茶道具類)

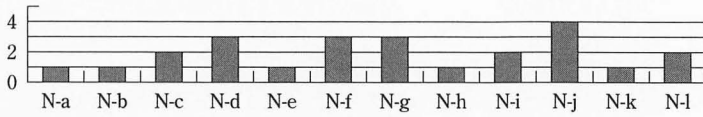


第12図 K (香道具類)

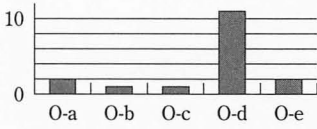
近世大坂商人の美術品蒐集



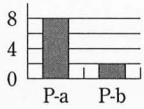
第13図 M (美術工芸品類)



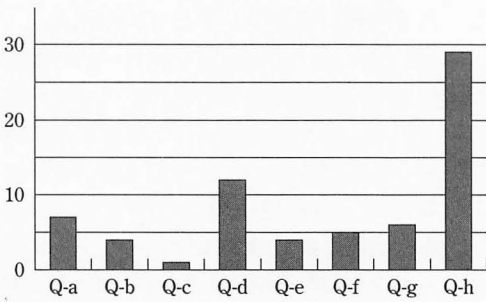
第14図 N (文房具類)



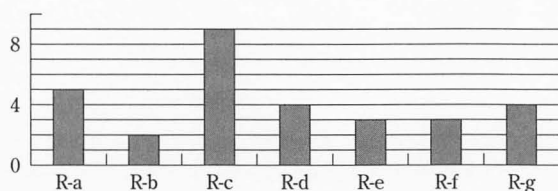
第15図 O (楽器類)



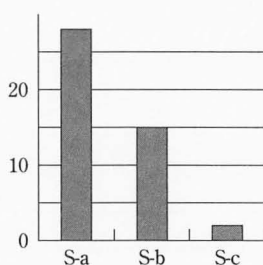
第16図 P (仏像・仏具類)



第17図 Q (その他の工芸品類)



第18図 R (観測機器類)



第19図 S (精密機器類)

17.64%を占める。

e (硝子工芸)は4点で、その他の工芸全体の5.9%を占める。

f (木工)は5点 (747) で、その他の工芸全体の7.35%を占める。

g (素材)は6点で、その他の工芸全体の8.82%を占め、名取川埋木 (419・424・501) などが見られる。

h (その他)は29点で、その他の工芸全体の42.64%を占め、内外の様々な工芸品が含まれる。

R (観測機器類) (第18図)

30点で、総数の2.9%を占める。大半がヨーロッパからもたらされた貴重な機器類である。

a (天文観測機器)は5点で、観測機器類全体の16.6%を占める。

b (気象観測機器)は2点で、観測機器類全体の6.6%を占める。

c (望遠鏡)は9点で、観測機器類全体の30%を占める。

d (磁石類)は4点で、観測機器類全体の13.3%を占める。

e (測量機器)は3点で、観測機器類全体の10.71%を占める。

f (顕微鏡)は3点で、観測機器類全体の10%を占める。

g (その他)は4点で、観測機器類全体の13.3%を占める。

S (精密機器類) (第19図)

45点で、総数の4.32%を占める。

a (時計)は28点で、精密機器類全体の60%を占める。大半がイギリスを始めとした外国製品である。

b (時計付属品)は15点で、精密機器類全体の33.33%を占める。特に時計を繋ぐ鎖類 (112・247・292・357・800・852・947・952・994) などである。

c (その他)は2点で、精密機器類全体の6.66%を占める。

T (実験機器類)

3点 (131・137・940) で、総数の0.28%を占める。

U (医療機器類)

4点 (136・143・678・1002) で、総数の0.38%を占める。

5. 入手時期にみるコレクションの傾向

「家蔵記」は1～16の書籍を除いて17以降の器物については、ほぼ入手した年代順に記載されていることから時系列による蒐集品の嗜好性をみる事ができる。25、6歳から始めた蒐集品は千点を優に越える膨大な量であり、購入金額の総計は明確なところを明らかにすると金1,682両564歩119朱、銀4貫24.732匁387分と桁はずれである。因みに入手年代の初出する寛政2年 (1790) 当時の加賀米一石 (100升)、銀44匁前後、肥後米一石51匁前後である。

寛政2年 (1790) ~ 寛政10年 (1798) 26歳

～34歳

143点の蒐集品があり、全体の傾向としてはC（標本類）が51点と突出しており42.25%を占めている。内訳は、A3点、C-a16点、C-b2点、C-c13点、C-d3点、C-e7点、C-f1点、C-g5点、C-h4点、C-i3点、C-j4点、C-l2点、D1点、E-d1点、E-f1点、F-a3点、F-b4点、F-c1点、F-e1点、G-a1点、G-c4点、G-d1点、G-e3点、G-g1点、G-i1点、G-k2点、I-a2点、I-c1点、K-a1点、K-b1点、L1点、M-i3点、M-l1点、M-m1点、M-o3点、M-q2点、N-a1点、N-f2点、N-i1点、N-j2点、P-b2点、Q-a4点、Q-b1点、Q-d1点、Q-e1点、Q-h5点、R-a5点、R-b1点、R-c2点、R-f1点、S-a4点、S-b1点、S-c1点、T2点、U2点、E（武具・刀装具類）やH（酒器）、J（茶道具類）の蒐集はほとんどなく、C（標本類）やR-a（天文観測機器）などは5点も入手していることなどから、この時期興味の矛先はもっぱら自然史関係にあったことが窺える。

寛政11年（1799）頃～文化6年（1809）頃
35歳～45歳

306点の蒐集品があり、内訳はA7点、B2点、C-a17点、C-b7点、C-c22点、C-d5点、C-e5点、C-g3点、C-h3点、C-i3点、C-j1点、C-k1点、C-l1点、E-c1点、E-d4点、E-g2点、E-h1点、E-i2点、E-j4点、E-k1点、E-l1点、E-m1点、E-o3点、F-a3点、F-b5点、F-c2点、F-d1点、F-e2点、G-a8点、G-b4点、G-c18点、G-d13点、G-e6点、G-f4点、G-g7点、G-h3点、G-i3点、G-k7点、H-a5点、H-b1点、H-c1点、H-d3点、H-e1点、I-a1点、I-b1点、I-d4点、J-a3点、J-b1点、J-c1点、J-d1点、J-f1点、J-g2点、J-h4点、K-a2点、K-b1点、K-c1点、L4点、M-a3点、M-b1点、M-d2点、M-g1点、M-h2点、M-i6点、M-j4点、M-k4点、M-l1点、M-m2点、M-n4点、M-o2点、M-q1点、N-c2点、N-f1点、N-i1点、N-j2点、N-l1点、O-a1点、O-b1点、O-e1点、Q-a3点、Q-b1点、Q-d3点、Q-e2点、

Q-f1点、Q-g2点、Q-h5点、R-b1点、R-c3点、R-d1点、R-e1点、R-f3点、S-a10点、S-b6点、である。やはりC（標本類）は、68点と多く22.14%を占めている。中でも古瓦類が増加している。これまでほとんど無かったE（武具・刀装具類）が20点、G（調度・什器類）が73点と圧倒的に増え、23.77%を占めている。なかでもG-c（金工）が18点と多い。また、H（酒器）12点、I（喫煙道具類）6点、J（茶道具類）13点、M（美術工芸品類）33点と伝統的な工芸関係に興味が増していることが窺える。さらに、S-a（時計）10点、S-b（時計付属品）6点と新たな蒐集対象として時計類およびその付属品が加わったこともこの時期の傾向として捉えられる。

文化7年（1810）頃～文政3年（1820）頃
46歳～56歳

344点の蒐集品があり、内訳はA1点、B2点、C-a8点、C-b2点、C-c3点、C-i2点、C-j2点、D1点、E-a3点、E-b1点、E-c1点、E-d2点、E-e1点、E-f2点、E-g17点、E-h2点、E-i2点、E-j3点、E-l1点、E-m1点、E-n2点、E-p1点、E-q2点、E-r6点、F-b4点、G-a23点、G-b27点、G-c12点、G-d4点、G-e9点、G-f5点、G-g2点、G-h4点、G-i1点、G-j3点、G-k5点、H-a5点、H-b4点、H-c1点、H-d1点、H-e1点、I-a1点、I-b1点、I-c2点、I-d5点、J-a4点、J-c4点、J-d1点、J-f10点、J-g3点、J-h3点、J-i1点、J-j4点、K-a2点、K-b6点、K-c1点、L5点、M-a24点、M-b4点、M-c1点、M-d1点、M-e1点、M-f1点、M-h6点、M-k5点、M-l2点、M-m4点、M-p2点、N-d3点、N-e1点、N-g2点、N-h1点、N-k1点、N-l1点、O-a1点、O-c1点、O-e1点、P-a6点、Q-c1点、Q-d7点、Q-f4点、Q-g4点、Q-h13点、R-c1点、R-d2点、R-e1点、R-g1点、S-a6点、S-b1点、S-c1点、U1点である。C（標本類）は、僅かに17点と全体の5%である。G（調度・什器類）は、95点で27.94%を占めている。特にG-a（陶磁器）23点、G-b（漆器）

27点と多くなっている。E（武具・刀装具類）は、46点、M（美術工芸品類）は51点と増加し、それぞれ、13.52%、15%を占めている。中でもM-a（日本画 掛物）は24点とその約半数を占めている。この時期興味はさらに純然たる美術品へと推移していることが理解できる。

文政4年（1820）頃～天保7年（1836）頃没年 57歳～72歳

229点の蒐集品があり内訳は、A3点、C-c1点、E-d点1、E-g1点、E-h2点、E-i3点、E-j1点、E-k1点、E-m2点、E-o2点、F-a2点、F-b3点、G-a18点、G-b8点、G-c10点、G-d6点、G-e4点、G-f4点、G-g3点、G-k1点、H-a12点、H-b3点、H-d4点、H-e3点、I-d2点、J-a3点、J-b4点、J-d1点、J-e9点、J-f13点、J-g6点、J-h5点、J-i1点、J-j1点、K-a3点、K-b2点、K-d1点、L6点、M-a10点、M-b3点、M-e4点、M-g1点、M-h1点、M-i1点、M-j2点、M-k1点、M-o1点、N-b1点、N-g1点、O-d11点、P-a2点、Q-b2点、Q-d1点、Q-e1点、Q-h6点、R-c5点、R-d1点、R-e1点、R-g1点、S-a8点、S-b7点、T1点、U1点である。C（標本類）は、僅か1点となり、E（武具・刀装具類）も13点と大幅に減少し、G（調度・什器類）は、54点でやや減少する。H（酒器）は22点と増加し、J（茶道具類）は44点で19.13%を占めている。この時期O-d（オルゴール）を集中的に11点蒐集し、S-a（時計）8点、S-b（時計）7点と時計熱は継続している。

以上、凡の傾向として20代後半から30代半ばにかけてはC（標本類）やR-a（天文観測機器）など興味は自然史関係にあったことが窺え、30代半ばから40代半ばにかけては伝統的な工芸関係に興味が推移し、さらに、S-a（時計）、S-b（時計付属品）と新たな蒐集対象として時計類およびその付属品が興味の対象に加わり、以降継続する。40代半ばから50代半ばにかけての興味は、E（武具・刀装具

類）、M（美術工芸品類）等武具や美術品へと推移していることが理解できる。50代半ばから晩年は、武具等は敬遠し、H（酒器）やJ（茶道具類）、O-d（オルゴール）といった諸道具や情緒的安らぎを求めたのであろうか楽器類の蒐集が増加傾向にある。S-b（時計）の蒐集は、30代半ばから終世継続する。

6. 取次ぎ商人と品々

「家蔵記」に記載されている蒐集品の多くには購入金額と入手先が記載されている。取次先には平蔵（重芳の嗣子で五代平右衛門重長の幼名）や平左（分家初代平左衛門重喜）、平次郎（分家二代重遠）、七兵衛（升屋本家の親類で中川七兵衛＝御向）、七郎左衛門・小右衛門（山片蟠桃）など升屋の縁者や仙台藩関係者も数多く記載されており、親類縁者によるネットワークで升屋重芳の蒐集活動をもり立てていた一面が見て取れる。

一方、疋田奎兵衛、加賀屋忠兵衛、かさや宗兵衛、はりまや九兵衛、相州松崎屋与兵衛、上村屋幸八、俵屋竹吉、銭屋又兵衛、井手佐平等々専門商人の取次によって好みの品々を入手していることも克明に記録されており、美術品流通史の上からも看過できないところである。ことに西洋舶載の器物は、先に記した蘭学の流行と相俟って、重芳を始めとした知蘭派の好事家垂涎の蒐集対象であったことが、その蒐集品内容からも窺い知ることができる。

杉田玄白『蘭学事始』には「其頃より世人何となく彼国持渡りのものを奇珍とし、総て其舶来の珍器の類を好み、少しく好事ときこえし人は、多くも少くも取集めて常に愛せざるはなし」と時勢の風潮を書き記している。これらの舶来品を商う商人は唐高麗物屋からこまものやと称され、大坂伏見町一帯に数多く店を構えていたことが知られている。中でも加賀屋を名乗る商家は16世紀後半に秀吉に従って加賀から

大坂に移り住んだ斎藤九郎右衛門を祖とする唐高麗唐物屋で、斎藤九郎右衛門の分家、縁者であるといわれている。

江戸後期の風俗を見聞のままに類聚した喜田川守貞『守貞謾稿』巻五「生業」には「伏見町茶道具屋 表専ラ格子也。茶道ノ具及ビ惣テ貴價ノ古器物雅玩ノ品ヲ商フ。」とあり、さらに「平野町唐物問屋 表揚げケ店構ナレドモ、見世更賣物ヲ置ズ。専ラ東堀ノ川岸ニ、土蔵ヲ連ネ建テ是ニ貯フ。唐及和蘭來舶ノ諸品ハ、長寄ニテ官市也。長寄ニ、シャワニンカタト云アリ。商人方也。買人アリテ、入札ニテ、官ヨリ買之。其諸物全ク大坂問屋ニ贈ル、問屋リ、其品ノ中買ニ賣ルニ、賣出シ買出シ、入札、直組其他種々ノ買法アリ。畧之。又、京江戸ニモ漕シ賣ル。」とあり、江戸後期の平野町には長崎の官市を介して入札によって唐、和蘭舶来の品々を買っている仲買人の様子が記されている。

「家蔵記」に記されている升屋関係者以外で商人と考えられる人々は、約60人ほど認められ、中でも大坂を代表する唐高麗唐物屋、加賀屋忠兵衛や正田空兵衛といった大店の記載が数多く認められる。これらの商人の中で、「家蔵記」に数多く記載されているものや特徴的な商人に関して取扱いの品々の傾向等について分析を試みる。

正田空兵衛（正田屋空兵衛）

正田空兵衛は、「家蔵記」に、正空・匹空・匹もく・ひき空と略称で183に及ぶ記載が認められ、『兼葭堂日記』にも50回ほどの交流記録が認められる。「家蔵記」に頻出する取次商人であるところから山片重芳が最も最良にした商人であることが窺える。伏見町の正田空兵衛の店先の様子は、寛政八年（1796）刊行の『撰津名所圖會』大坂部四上に所載（第20図）されており、当時の唐高麗唐物屋の様子が興味深く観察できる。重厚な看板には「異国新渡奇品珍物 蝙蝠堂」と記

され、店先で行われているエレキテルの実験に見入る人々の様子や、店内に分類されてディスプレイされた品々が異国情緒を演出している。商業ディスプレイの基本である人目を引くものを店先に、奥には分類された品々が整然と並べられる。画面右手前の縁台には木彫の鯉と甕、左手に突出する縁台には唐木細工の背凭れ椅子と陶製の太鼓形の腰掛が置かれ、「唐高麗物品々」と記された標識が立掛けられている。その後方には清朝乾隆年間（1736～1795）を彷彿させる豆彩双耳大壺と軸物の一山、さらにその隣りには規格物の瓶三口と盃の一山、煙管を持つ人物の手許には陶製の筆架が並べられている。左手軒からは提灯形をした燭器と如意、払子を垂下させ、左手の棚の上段には碗と盆石、木箱に納められた異国風の人形と箱の上には銀食器とグラスが、下段の壺には孔雀の羽が挿してある。壺前の衣桁形の道具架けには玉類や根付、印籠を二列下げ、奥の棚には最上段に硝子碗や合子、中段には硝子のワイングラスやコップ・水指・瓶などを整然と並べ、下段には唐渡りの銅器や大壺が並べてある。羽織を着た人物は正田空兵衛であろうかエレキテルの起電機に手をかけ、鎖で繋がった盤上に座す男の頭部から電光が放たれている様子に衆目が集まっている。主人の後方に据え付けられた引き出しの前には段通が一卷ころがっている。この店先の様子を窺えば当時の異国趣味の蒐集家の多かった土地柄における所謂売れ筋の品々を網羅する商売の様子が垣間見れ、興味深い。画面右肩には「ある人伏見町の唐高麗物屋正田が店をみて阿蘭陀文字にて狂歌を書侍る」と添え「Japan ni mo tin pun cwan no Mise Arite Kaite wo hikida Mocu Zen no Kala」とローマ字の狂歌が添えられている。Kaite wo hikida Mocu Zen no Kalaの意味は、買手を引出す正田の店は目（空）前に唐を見る

ようだということであろう。

疋田空兵衛は兼葭堂とも取引があり『兼葭堂日記』には、疋田空兵衛、疋田、疋田茶碗屋の名前で安永八年（1779）～享和元年（1801）の間に約50回、年に2～3回の顔繋ぎ程度の頻度で記録されている。「家蔵記」に記録された疋田空兵衛の名は寛政二年（1790）～文政九年（1826）の間に183回であり、頻度からいえば山片重芳の方が最上にしていたことが看取される。

「家蔵記」にみる疋田空兵衛商店の商品の特質は、蒐集者の要求に広く答えられる品揃えであったことが窺える。

取次ぎ商品の総数は187点で総数全体の17.98%を占める。その内、142点は国外の品物（オランダ51点・中国21点・朝鮮3点・イギリス3点・その他64点）で、唐高麗物屋の名に相応しく取次ぎ商品全体の76%を占めている。内容の傾向は、A8点、C-a1点、C-c3点、

C-g1点、C-i2点、C-l1点、E-f1点、F-a1点、F-b7点、F-c1点、F-d1点、G-a16点、G-b4点、G-c6点、G-d9点、G-e5点、G-f8点、G-g5点、G-h2点、G-i5点、G-k7点、H-a4点、H-d3点、H-e1点、I-a2点、I-b1点、I-d2点、J-a1点、J-b1点、J-g1点、J-h7点、J-j1点、K-a1点、K-b1点、L4点、M-a1点、M-h1点、M-i3点、M-j4点、M-m1点、N-b1点、N-e1点、N-j1点、N-l1点、O-a1点、O-d4点、P-a1点、Q-a4点、Q-b3点、Q-d4点、Q-e3点、Q-f1点、Q-h5点、R-a1点、R-c3点、R-e1点、R-f3点、R-g1点、S-a8点、S-b6点、T1点であり、（第21図参照）ほぼ全般の品々にわたって取次いでいることが理解できる。しかし、E（武器・刀装具類）については一点の扱いもなく、取扱い商品から外れている。特に、扱いの多いものはG（調度・什器類 陶磁器）67点で、取次ぎ商品全体の35.82%を占めている。G-a（陶磁器）16点を数え、全体の8.55%を占めている。し



第20図 唐高麗物屋悲喜田の店頭 『摂津名所図絵』所載

かも、内容は、広東焼角小皿（但内五枚人物画五枚艸花之画有之）(338)、南京平鉢(515)、南京菊染付中皿(794)などの中国製が7点、白和蘭焼盃台(439)や和蘭焼小皿（但藍絵）(514)などオランダ渡りの品々が9点と全て中国やオランダ渡りの品々で占めていることが理解できよう。また、S-a（精密機器類 時計）は8点と多く、S-a全体の29.62%を占めている。

加賀屋忠兵衛

「家蔵記」には、加忠・加、忠・か、忠と略称で101回に及ぶ記載が認められ、正田空兵衛と並ぶ大坂伏見町の大手である。前述したが、加賀屋を名乗る商家は16世紀後半に秀吉に従って加賀から大坂に移り住んだ斎藤九郎右衛門を祖とする唐高麗唐物屋で、斎藤九郎右衛門の分家、縁者であるといわれている。『兼葭堂日記』には安永八年(1779)～享和元年(1801)の間に400回以上登場し、兼葭堂がもっとも最良にした唐高麗唐物屋であることが窺える。このようなことから、前述の正田空兵衛は山片重芳が、加賀屋忠兵衛は木村兼葭堂が出入りを密にしていた唐高麗唐物屋で、蒐集のピークはずれるが両蒐集家に稀覯な品々を競って入れていた様子が推察される。

取次ぎ商品の総数は98点で総数の9.42%を占める。正田と同じくその内、71点は国外の品物（中国21点・朝鮮1点・オランダ18点・イギリス8点・その他24点）で、取次ぎ商品全体の72.44%を占めている。その内訳は、B1点、E-r1点、F-a2点、F-e1点、G-a9点、G-b3点、G-c7点、G-d3点、G-e2点、G-g1点、G-k1点、H-a9点、H-d3点、H-e1点、I-d3点、J-a4点、J-b1点、J-c1点、J-e5点、J-f1点、J-g2点、J-h1点、J-i1点、L3点、M-a4点、M-h1点、M-m2点、M-n1点、M-o2点、N-i1点、O-d3点、P-a1点、Q-d1点、R-b2点、R-c2点、R-d1点、S-a7点、S-b3点、U1点（第22図）で、特に、

扱いの多いものはG（調度・什器類 陶磁器）26点で、取次ぎ商品全体の26.53%を占めている。G-a（陶磁器）9点を数え、内7点が中国製、1点がオランダ製、1点が日本製である。金画コップ(298)や朝鮮砂張小燭(503)、銀写匙(987)などG-c（金工）も7点と比較的多い。S-a（精密機器類 時計）は7点と多く、S-a全体の29.62%を占めている。

かさや宗兵衛

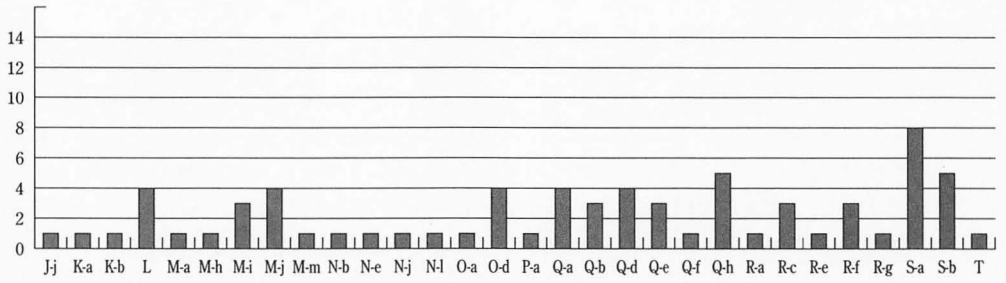
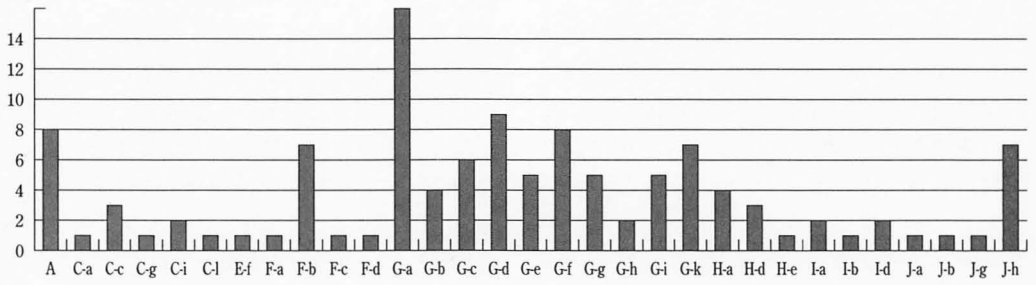
取次ぎ商品の総数は69点で総数の6.63%を占める。国内の商品が56点と取次商品全体の81.15%を占めることから国内の商品を地道に扱う店柄であったことが推察される。中でも、G-b（調度・什器類 漆工）、J-f（茶道具 鉄瓶）の取次ぎが12点、13点と多く、蒔絵五人前弁当（但膳椀飯杓子共外匣青貝入）(474)、時代蒔絵弁当（但梨地栢之もやふ）(527)、根来菓子盆（足高し）(710)、朱細蒔絵吸物椀(768)、真塗大丸弁当（但菊小籠もやう懸子 盆二枚分匣塗）(985)など蒔絵や根来菓子器、吸物椀といった漆工芸品の秀でた品々や大徳寺形鉄瓶(690)、時代剥蜜柑鉄瓶(845)、緞子形もやう鉄瓶(853)、珍品時代鉄瓶（銘北野）(903)など鉄瓶の品揃えに特質がみられるところである。内容の詳細は以下のとおりである。

G-a3点、G-b12点、G-c1点、G-d1点、G-e2点、G-h1点、H-a3点、H-b2点、H-e1点、I-a3点、J-a3点、J-c1点、J-d1点、J-e1点、J-f13点、J-g3点、J-i1点、J-j1点、K-b3点、L2点、M-a4点、M-b1点、M-e1点、N-d3点、N-g2点、N-l1点、P-a1点、Q-c1点（第23図）

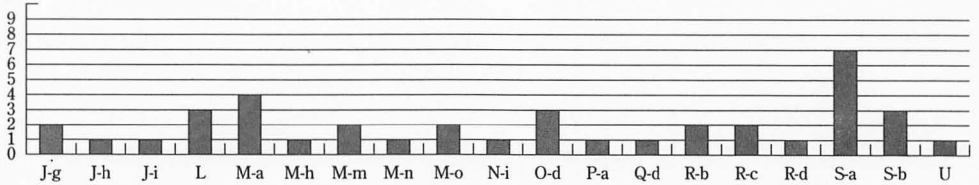
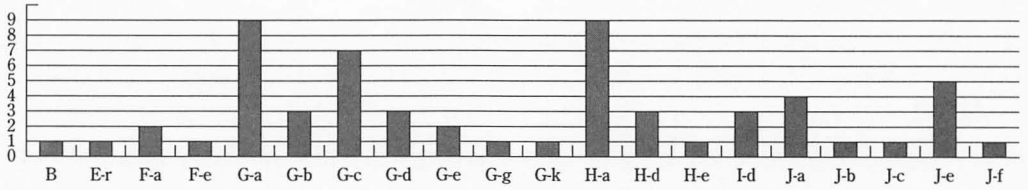
俵屋竹吉

一通りの品々を取次いでいるが特に美術工芸品関係の品に強い。G-a1点、G-b2点、G-c2点、J-d1点、J-j1点、K-b1点、K-c1点、M-a11点、M-e2点、M-g1点、M-h2点、M-j1点、Q-g1点、S-a1点で、特に、M-a（日本画 掛物）は、光淋鶴懸物(476)、土佐光超画（但猿丸

近世大坂商人の美術品蒐集

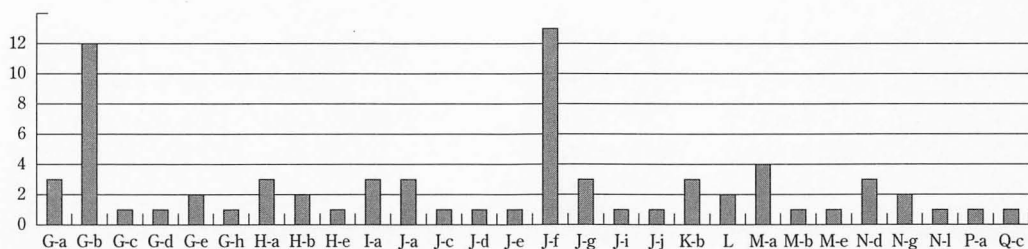


第21図 足田壱兵衛取次商品の傾向

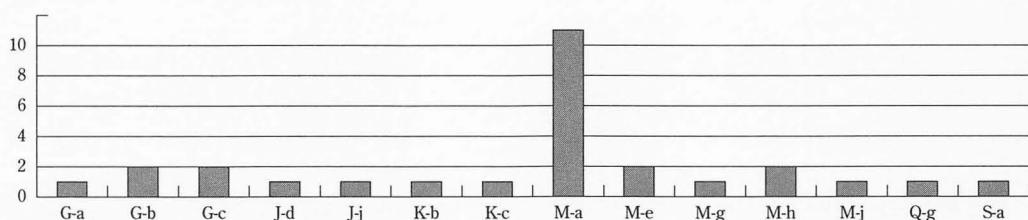


第22図 加賀屋忠兵衛取次商品の傾向

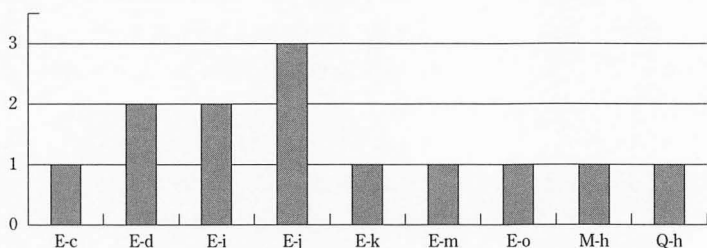
近世大坂商人の美術品蒐集



第23図 かさや宗兵衛取次商品の傾向



第24図 俵屋竹吉取次商品の傾向



第25図 上村幸八取次商品の傾向

大夫家持) (525)、英一蝶懸物 (但安宅図) (543)、等伯猿猴画懸物 (573)、探雪竹之画懸物 (833) など11点取次いでおり掛物の品揃えに特徴が認められる。(第24図)

M-e (屏風) では時代土佐画小屏風 (486) や時代源氏図式枚屏風 (907) をM-h (中国画) では南蘋柳鴨絵懸物 (774)、M-k (日本書) 定家卿墨跡懸物 (但上下唐物緞子中風袋印金)、古今珍敷物故求置 (570) など優品が認められる。

上村屋幸八

武器・刀装具類を取扱う専門商人で、「家蔵記」には13点の品々がみえる。E-c1点、E-d2点、E-i2点、E-j3点、E-k1点、E-m1点、E-

o1点、M-h1点、Q-h1点で、特に刀剣そのものより魯西亜金銭 目貫ニ致置 (235)、時代小柄 (唐艸に紋瓦字有之) (224)、時代牡丹獅子縁 (225) など目貫や小柄、縁頭といった刀装具関係の品々に店の特質が認められる。(第25図)

井手佐平・井手斧次

井手佐平は時計を中心に向う商人で、『兼葭堂日記』には天明六年 (1786) 閏十月二日に「香合時斗井出佐兵衛遣ス」とある。「家蔵記」には、金無垢鈴打袂時斜 (92) の取次が記載され、寛政八年 (1796) 頃である。井手斧次は井手佐平の嗣子と思われ、やはり、40両もの高価な暗計利亜 (=イギリス) 時計

(但三本針惣唐艸もやう)(758)や30両の暗計兎亜時計(但蓋飛出三本針早廻裏瑠璃白絵もやう)(797)、大時計クサリ(但長サ四間有之)(800)や魯西亜人鉄砲打之図赤絵服紗(867)、時計鎖先ヲルコル(880)など6点を取次いでいる。

間五郎兵衛重富

間五郎兵衛重富^{はなま}は、長堀川富田屋橋北詰に住した富裕な質屋の主人で、生来機械に関心を示し自ら工夫したり創造する才に恵まれていた。特に天体の高度測定器である像眼儀や天体の子午線経過時刻を測定する子午線儀などを考案し、その財力をもって麻田流天文学の興隆に大きく貢献した。後に、江戸浅草暦局に出仕し高橋景保を輔佐して科学的な天文暦学につくした人物である。重芳との交流の実態は定かではないが、日咎儀(50)、蘭製ヲクタント(46)など観測機器類やアトラス(1)やウヨールデンフーク(4)、アンソンス(8)といった書籍類を取次いでいることから、しばし商人の間に立って舶来の機器類や洋書を紹介している。

7. おわりに

以上、豪商升屋四代平右衛門(山片重芳)の蒐集品記録である「家蔵記」の分析を通して、江戸時代の蒐集家の嗜好とそれを取り巻く商人に関してある程度詳細な分析をすることができた。できるだけ山片重芳という一蒐集家の嗜好をクローズアップできるように細かな分類を試みたつもりであるが、何分数値的に多く、内容も多岐に互るため不適切なものも含まれていることは否めない。叱責を乞う次第である。

註

- 1 中野 操は、1979『大坂蘭学史話』思文閣出版の中で、知蘭派という用語を規定している。すなわち「大坂では、いわゆる蘭学者でもない、

また蘭方医でもないもう一群の蘭学関係者を区別したいと思うのである。それは西洋の学問技術等に関しては全くこま切れ程度の知識しかもたないが、むしろディレタントとして、オランダの、または西洋の書画や器物をこよなく愛した一群の人たちである。この人々を蘭学者と呼ぶことは不相当とおもうので、わたくしはここに知蘭派という新しい範疇を想定このなかにその人たちを入れることにした。」としている。

- 2 安永八年(1779)～享和二年(1801)の22年間に互る兼葭堂自筆の日記。野間光辰監修 1972『兼葭堂日記』翻刻編 兼葭堂日記刊行会 羽間平三郎
- 3 『日本随筆大成』巻七 1927 吉川弘文館所収
- 4 『新燕石十種第五』第五巻 1927 『攝陽見聞筆拍子』巻八 所収の「唐の開帳の事」には兼葭堂所持の108種の品々が記載され、中国、朝鮮の物品の他に阿蘭陀渡りの品々も認められる。
森正綱 『傾蓋漫録』(『四日市市史』第十巻史料編近世Ⅲ 1996 470頁所収)には、寛政四年正月(1792)増山雪斎の庇護によって伊勢長島藩領川尻村に仮寓していた兼葭堂を訪ねた森正綱が、兼葭堂所持の様々な文物を垣間見ている。その中には「阿蘭陀銅版ノ大冊、海族ヲ図ス、殊ニ精緻スヘテ影ヲ写ス、書ハ其国字ナリ、同画譜、橋本也、其中宮殿樓閣門牆ノ製造、唐土ト異ル、橋殊ニ奇ナリ、同葉草ノ写彩色潤美ナリ、水仙ノ類十種アリ、本邦未タ見ザルノ花多シ、同シク紅毛人墨画一卷アリ、書亦奇」や「座右ニ珍器アリ、コレヲ問ヘハ、ランハント云、阿蘭陀人ノ玩モノ也、高サ尺許、横長ク堅短シ、形ハ須弥也、アヤアリ、両端ニ軍配ノ如キモノアリ、向ニ欄ノ如キモノアリ、其間ニ板ヲ並フ、十六七葉段々ニ長シ、撥ヲモツテ撃ハ一牧一音ヲ出ス、サテサテ妙哉、撥ハ柄先ニ小車形ノ者、大サ経寸バカリナリ、余以為、上古ノクハゲン營、十二調子ヲ出スモ珍シカラスト感シヌ」など、蘭書や阿蘭陀製の珍しい楽器

近世大坂商人の美術品蒐集

- の見聞を記録している。
- 兼葭堂貝石標本（大阪市立自然史博物館蔵）中の6段目の箱、最上列右から5番目にはヨーロッパの北海方面でしか産出しないモミジソデ（*Aporrhais pes-pelecani*）が三個体含まれている。はるばるオランダからもたらされた蓋然性は高い。梶山彦太郎 1982「木村兼葭堂蒐集と推定される貝類標本について」『木村兼葭堂貝石標本 江戸時代中期の博物コレクション』大阪市立自然史博物館収蔵資料目録第十四集 大阪市立自然史博物館 22頁所収
- 5 有坂隆道 1985 「山片重芳の蘭癖収集品」『日本洋学史の研究』Ⅶ 創元社
- 6 有坂隆道 1993 『山片蟠桃と升屋』創元社 29頁～30頁所収
- 7 註3と同じ 99頁所収
- 8 有坂隆道 1965 「升屋平右衛門山片重芳の寛政七年仙台初下向日記（『旅譚』）」『史泉』30号 関西大学
- 9 重芳覚帳（一）の末尾に記載される「書物目録」（有坂隆道 1966 「豪商升屋平右衛門山片重芳の蔵書・収集品について」（上）『史泉』33号 関西大学）には、「江都大槻玄沢老ヨリ無拠取替金之事被頼為信儀被相登候蘭書目録」とあり、数冊の本が列記されている。
- 383 アルゲメー子ウ、ヘンスコーレ 八巻
ウエーテンシカッペン著述
但三才諸術芸及本然窮理学学校講業細密図説
- 384 ナチュール ヨハン子スフロレンチェスマルチ子ット著述
但諸国精説物産細密図着色入
- 385 ジョーガラヒ ヨハンヒプ子ル著述 但四大洲世界地説
- 386 ヨンストンス 但禽獸蟲魚介譜世界大成 図説紅草表帄 珍藏
- 387 子ーテルラントヒストリヘンニンケン 大本四巻
但金銀銭泉大小細密諸図数千顆写真金革表帄美本
- 388 ヒプ子コンストウワールテンブック 一巻
但百工韻府要術書白革表帄
- 389 アルゲメー子ヒストリー 拾九巻
但剖判総史 天地剖判セル開闢ノ初ヨリ今時ニ至ルマテノ数千載ノ際ノ史録也
- 390 本朝第壹部之書珍藏 プレホスト 大本 貳拾壹巻
但四大洲各国ヲ始テ開キシ人々又航海征客諸士ノ経歴ノ記録ヨリ採リ集メ地面方位隣界分洲王侯地主并氣候風土江湖山川海洋及海岸岸居宅營作民俗崇奉神仏政治芸術交易技術等古今同異毎編精密ナル鏤版ヲ以テ其諸国地図勝景都城家作人物鳥獸草木魚介之類悉ク其土産ヲ写真スルモノ数百葉
- 391 ハンドカールテ 大本 壹巻
但世界精図 革表帄
- 392 セーハッケル 大本 壹巻
但諸地諸島図及海図航海要所
- 393 スプラークトコンスト 壹巻
但涅第爾蘭土言語術
極品美本 右ハ江都大槻玄沢君ヨリ取替金之為札到来
とあり、ヨンストンスが大槻玄沢より事実を推察するに足る記録が残されている。
- 同氏によれば「文化三年ごろに書きつけたと考えられるので、同年三月玄沢の木挽町宅の火災、同八月 采女新宅に結び付けて考えてよいかもしれない」とし、玄沢借金的一件と蔵書の移管を示唆しておられる。
- 10 『兼葭堂日記』復刻編 1972 兼葭堂日記刊行会 396頁所収
- 11 有坂隆道 1966 「豪商升屋平右衛門山片重芳の蔵書・収集品について」（上）『史泉』33号 関西大学
- 12 有坂隆道 1967 「豪商升屋平右衛門山片重芳の蔵書・収集品について」（中）『史泉』34号関

近世大坂商人の美術品蒐集

西大学

- 13 有坂隆道 1966 「豪商升屋平右衛門山片重芳
の蔵書・収集品について」(下)『史泉』35・36
合併号 関西大学

(國學院大學考古学資料館学芸員、兼任講師)

家蔵記番号	物品名	大分類	細目分類	員数	内外の別	(金)		(銀)		基本単位外	取次	入手時期
						両	歩	朱	貫			
1	アトラス (但奥地全図金革表替)	書籍	A	1巻	H	32					間五郎兵衛	
2	シン子ヘールデン(但涅第爾蘭土之珍話之記画入)	書籍	A	1巻	H	3					足田奎兵衛	
3	ヘルマンニ(但諸梨族之図彩色入雲形革表替)	書籍	A	1巻	H	10					大槻玄沢老	
4	ウヨールデンフーク(但字書 馬亜林著述)	書籍	A	1巻	H	4					間五郎兵衛	
5	アナトミイ(但解体之書図入)	書籍	A	1巻	H	3	2					
6	アトラス(但奥地全図象皮表替)	書籍	A	1巻	H	15					足田奎兵衛	
7	アールト(但歐羅巴州中図)	書籍	A	1巻	H	2						
8	アンソンス(但ミンタノ嶋と亜墨利加州エ渡海之記画入)	書籍	A	1巻	H	3	2				間五郎兵衛重富	
9	ウヨールデンフーク(但字書仏良察語ヲアラワス)	書籍	A	1巻	F	3						
10	ケンブル(但本朝之記事画入)	書籍	A	1巻	H	7					右ハ江戸ニテ間物屋与兵衛と求	
11	アブラム(但諸芸術集俗職人フークト呼)	書籍	A	5巻	H	4					間五郎兵衛重富	
12	ナチュル(但天文測量諸術書此書全部ニアラス)	書籍	A	1巻	H	3					尼崎屋五兵衛殿所持候所譲受ル	
13	マレイセスブラークコンスト(但マイレス国之通字書)	書籍	A	1巻	H	3					足田奎兵衛	
14	ショメールホイスホーテレキウヨールデンフーク(但居家彙要書金革表替画入)	書籍	A	2巻	H	13	2				足田奎兵衛	
15	ウエレルト(但万国遊覧物産書)	書籍	A	1巻	H	1	2				足田奎兵衛	
16	ヘーステル(但外科之書図入)	書籍	A	1巻	H	1	3				足田奎兵衛	
17	風鳥雌雄(鳳凰)	標本	C-j	1	O	2						
18	鼠冬 鼠(但蝦夷産)	標本	C-i	1	J		3					
19	貔虎皮	標本	C-i	1枚	O	4	3				右者萱野丈助仙台ニテ求	寛政2(1790) - 5年(1793)
20	銀鼠明腹	服飾類	F-a	1	O	5					越後屋	
21	熊皮	標本	C-i	1枚	J						丸屋佐兵衛	
22	玉(但竜唐彫)	その他の工芸品類	Q-a	1	C	1	1				淡路屋弥五郎	
23	玉(但雨竜彫 則壁)	その他の工芸品類	Q-a	1	C	1	1				足田奎兵衛	
24	玉(竜彫)	その他の工芸品類	Q-a	1	C	1	1				足田奎兵衛	
25	白玉髓	標本	C-c	1	J				7	3		
26	青石髻	標本	C-c	1	J				3	5		
27	曲玉壺(但神代之酒器 箕山日俗世陰器を以シピント云其体此器ニ彷彿昔古酒ヲ以テ今仕瓶ト云乎此器下ニ置クアタワサルハ陰器ニ無キ証也則酒瓶也)	美術工芸品類	M-q	1	J				4	3		加賀屋忠兵衛
28	法灯古研(但表裏四方彫刻アリ)	文房具類	N-f	1面	J	3					曾谷林蔵	
29	多賀城平大瓦研	標本	C-a		J						丈助	寛政5年(1793)12月
30	多賀城平瓦	標本	C-a		J						右者武品仙台より丈助携帶	
31	箕山手製地球	模型	D	1箱	J							
32	太宰府瓦	標本	C-a	1	J						右者仙台志村藤蔭殿西遊之節被贈	
33	南都大仏丸瓦	標本	C-a	1	J				13		堤	
34	安土総見寺瓦	標本	C-a	2	J						右者琵琶遊覧之節拾開手水鉢前有之	
35	本国寺瓦(但大光山ト丸ニ有)	標本	C-a	1	J				5		堤	
36	仙台産槻木化石品々	標本	C-e		J						仙台手代より被贈	

37	黒柿化石	標本	C-e	1	J													淡路屋弥五郎を以て加嶋屋源太兵衛被贈		
38	和蘭劔	武器・刀装具類	E-f	1振	H													疋田李兵衛		
39	蝦夷アズシ縫服	服飾類	F-a	1表	J												36	相州松崎屋与兵衛		
40	蝦夷アズシ(縫なし)	服飾類	F-a	1表	J													菅原や忠右衛門被贈	寛政7年(1795)4月	
41	花珠	標本	C-c		J													松与(相州松崎屋与兵衛)より被贈		
42	西洋人書籍処之和字	書籍	A		O													疋田李兵衛 6冊		
43	弘子貝	標本	C-g	2	J													安治清兵衛 6冊		
44	蘭製渾天儀	視測機器類	R-a	1箱	H	18												疋田李兵衛		
45	蘭製天地両球	視測機器類	R-a	2箱	H	17	2													
46	蘭製ワクタント(但大洋中日測量器考書写本添)	視測機器類	R-c	1箱	H	12												右者江戸ニテ間五郎兵衛重富殿取次		
47	西洋銭品々	標本	C-l	1箱	O													代追々求候故価不詳		
48	ウークボーグ(漢名度弓器)	視測機器類	R-a	1箱	O													右者尾崎屋五兵衛 6被贈候事		
49	イスタラヒ	視測機器類	R-a	1箱	O													助松屋清兵衛所持之処譲受ル		
50	日晷儀(右者戸田藤三郎製)	視測機器類	R-a	1箱	O	1	2											間五郎兵衛重富		
51	明清人画扇面	美術工芸品類	M-l	1箱	C	4	3											兼直堂所持之所譲受ル		
52	ナクトケケル(但日月星測量器紫檀宮入)	視測機器類	R-g		H	9												間物屋与兵衛	寛政7年(1795)	
53	銅板西洋諸都図(折本 表昏崩黄地唐花金欄)	美術工芸品類	M-q	1箱	O	2														
54	集古十種之内(但鐘銘類)	書籍	A	1冊	J													白川侯拝領	寛政7年(1795)	
55	革鑑(外ニ更紗類張置)	調度・什器類	G-g	1	J	2												疋田李兵衛		
56	矢ノ根石ニ 蝦夷小刀一	標本	C-b	2	J													4	3	
57	和製ルーブル(但ルー者蛮名乎フル者彈毫——物解呼物ト)	精密機器類?	S-c	1	J													25		
58	蘭製陶人形(硝子宮ニ入)	その他の工芸品類	Q-b	1	H															
59	鉄懐中手燭(但枕ニ仕込置)	調度・什器類	G-c	1	J		2											江戸ニテ因間与求ル		
60	鉄釣燈(但硝子張)	調度・什器類	G-c	1	J															
61	蘭製曲象	調度・什器類	G-e	1脚	H	2												疋田李兵衛		
62	蚌化石(但俗ドブ貝と云)	標本	C-d		J															
63	異木花器(此木則浦河辺ニ流レ来ルト云)	花器類	L		O													相州松崎屋与兵衛 6贈ル		
64	爪石	標本	C-c	1	J														豆州大嶋之産同人 6被贈	
65	ミコラスコーヒュン(但顕微鏡也色々入)	視測機器類	R-f	1箱	O	6												疋田李兵衛		
66	陰陽石	標本	C-c	1	J															
67	緑石(雲茄玉造之産)	標本	C-c		J														池上新助殿 6被贈ル	
68	蘭製昏細工船額	美術工芸品類	M-i	1	H		2													
69	摺墨石(但隠岐之産)	標本	C-c		J															
70	白南京石印材	文房具類	N-j		J														25	
71	奥州貝カ阪之貝土	標本	C-g		J														蕉園君取次 与兵衛奥通行之節探掃ル	
72	朴の木枕 同国栗原郡三廻之産 万葉集 陸奥の栗駒山の朴の木のみくらはあれと君か手枕	調度・什器類	G-e		J														同人(与兵衛)より贈る	
73	鱗之彫研	文房具類	N-f	1	J		2												古梅円ニテ求ル	
74	埋木机	調度・什器類	G-e		J															
75	埋木研管	文房具類	N-i		J															
76	埋木多葉粉盆	喫煙道具類	I-c	2	J															
77	象牙根付(但虚舟彫刻君子万年ト有之 刻代金老步)	美術工芸品類	M-m	1	J		2												天野	
78	蟹化石	標本	C-f	1	J														4	3

115	駅路鈴(但延長之文字有之)	その他の工芸品類	Q-d	1	J					60			越助 右白川御家中堀田氏へ進物
116	蛤蚧	標本	C-g	1対	J					25	4		平左
117	貝類	標本	C-g	1	J					22			加賀屋善藏
118	埋木化石	標本	C-e	1	J								九五郎
119	支那製小カンナ	調度・什器類	G-i	1	C			1					足田李兵衛
120	青白製玉ノ筆	文房具類	N-a	1	C			3	2				京都入江町に逗留ノ節竹屋町道具屋ニテ求ル
121	玉(但角雨竜彫)	その他の工芸品類	Q-a	1	C			3					足田李兵衛
122	鳳テン緒メ	服飾類	F-c	1	J			2					銭屋又兵衛
123	集古十種之内(但銘銘類小倉色帛類也)	書籍	A	1箱	J								右者白川家中新貝源八出版之節拝領外ニ品物畧ス
124	淳熙年間之反古	その他の工芸品類	Q-h	2	C					22			并(並)河取次
125	金着古代環	標本	C-b	3	J			2	2				
126	房笏之産柳竹	標本	C-h	1	J								松与(相州松崎屋与兵衛)より被贈
127	子規全羽	標本	C-j	1	J								谷准平殿も被贈
128	羅漢寺全瓦	標本	C-a	1	J								但江戸渡辺三右衛門より贈
129	金方解	標本	C-c	1	J			2					平左
130	雲州玉造石	標本	C-c	1	J								右家中津田幸助殿も被贈天野子携来
131	蕃製薬水入(但外焼物模様有之内小硝子)	実験機器類	T	1	O			3					足田李兵衛
132	蕃製トウメ(但硝子画小児鳥籠携図)	美術工芸品類	M-i	1	O			3					
133	唐物縫切(但萌黄緞子唐花縫)	服飾類	F-b	1枚	C					60			越後屋林輔
134	蝦夷巾着	美術工芸品類	M-o	1	J								但清兵衛も贈
135	楠化石	標本	C-e	1	J								
136	カテーテル(但便閉ニ用ル器) 外科用	医薬機器類	U	1	O			2	2				
137	スホイト(但水押ナリ)	実験機器類	T	1	O			1	2				右二品中川元五郎へかし
138	天文年号鉄水鉢	調度・什器類	G-c	1	J			2	2				足田善兵衛
139	石卵	標本	C-c	1	J					7	5		岡与
140	西洋人碑石摺	その他の工芸品類	Q-h	1	O								但江戸参行之節掛川宿ニテ死ル時建ルト云谷文晁君親族深谷平蔵殿浪華遊覧之節被贈
141	支那下駄	調度・什器類	G-k	2足	C					7			加賀屋忠兵衛
142	硝子大コップ(但文字等有之)	調度・什器類	G-d	1	O			1	1				間物屋与兵衛
143	フシイ1・ホシ1・ハシ1・コウ1・針1・ヘ2(1本象牙)	医薬機器類	U	6	J					53	5		
144	黒柿書物挟	文房具類	N-j	1	J					17	5		曾林(マ)林蔵
145	嘉慶末年曆	調度・什器類	G-k	1	J					8	6		足田李兵衛
146	天正年間小鐘(但文字菊馬ト有并竜虎梅竹之模様)	仏像・仏具類	P-b	1	J					21	5		中川元五郎へかし
147	寛永年間鯉口	仏像・仏具類	P-b	1	J			2	2				中川元五郎へかし
148	小化石貝	標本	C-d	3	J								
149	木葉石	標本	C-e	1	J					7	5		
150	上杉家瓦	標本	C-a	1	J								渡辺三右衛門も贈ル
151	建長寺観欄間瓦	標本	C-a	1	J								右二品渡辺三右衛門も贈ル
152	河内観心寺瓦	標本	C-a	1	J								寛政十年天野子 同道南遊之節拾
153	仏子貝	標本	C-g		J								寛政10年(1798)

154	衛藏図識(但西戎之記行図入)	書籍	A	1	J	1	2											曾谷林蔵	
155	信国短刀	武器・刀装具類	E-d	1	J	1	1	2										蕉園君	
156	巢革道乱	美術工芸品類	M-o	1	J	1	3												
157	元禄年間香爐蓋 鉄	香道具類	K-b	1	J						8	6							
158	長田貝形土	標本	C-l	1箱	J													但松寄屋与兵衛 6贈	
159	八丈糸籠	その他の工芸品類	Q-h	1	J													疋田李兵衛より贈	
160	竜鞭(但一名海柳ト云)	標本	C-h	1箱	J													七郎左衛門(山片蟠桃)但馬入場之節携帰	寛政11年(1799)
161	桃山城全瓦	標本	C-a	1	J														
162	京大仏焼瓦	標本	C-a	2	J														
163	京大仏回廊瓦(但文字有之)	標本	C-a	1	J														
164	古代狗頭	標本	C-b	1	J						8	6						柳屋次千殿 6被贈	
165	駝鳥卵(但提重之内酒器ニ用)	標本	C-j	1	O			3	2										
166	多賀城丸瓦	標本	C-a	1	J														
167	竜文石	標本	C-c	1	J														
168	黒石	標本	C-c	1	J														
169	雷銃	標本	C-c	1	J														
170	千貫石	標本	C-c	1	J														
171	松皮化石	標本	C-e	1	J														
172	鍾乳石	標本	C-c	1	J														
173	鯨之皮	武器・刀装具類	E-o	1	O														右者仙台 6久五郎相登
174	興福寺平瓦	標本	C-a	1	J						8	6							
175	元興寺平瓦	標本	C-a	1	J						8	6							
176	招提寺平瓦	標本	C-a	1	J						10								
177	勢劔経塚経瓦	標本	C-a	1	J						7	5							
178	応永十三年丸瓦	標本	C-a	1	J			1	2										
179	大石氏巴丸瓦	標本	C-a	1	J						8	6							疋田李兵衛
180	根来朱卓	調度・什器類	G-b	1	J						175								疋田善兵衛
181	大罎(但外ニ朱ワクバチ有之)	楽器類	O-e	1	O		12												疋田善兵衛
182	ナンダモンタ石	標本	C-c	1	J														仙台 6久五郎相登ス
183	葉板村童貝から塚	標本	C-g	1	J														寛政12年(1800)5月
184	中尊寺境内姥杉(香銘みちのくト云)	香道具類	K-c	1	J														仙台 6久五郎相登ス
185	木葉之石	標本	C-e	大1	J														寛政12年(1800)5月
186	判官館古瓦	標本	C-a	1	J														仙台 6久五郎相登ス
187	中尊寺経堂瓦	標本	C-a	1	J														寛政12年(1800)5月
188	皿貝石	標本	C-d	1	J														仙台 6久五郎相登ス
189	赤貝化石	標本	C-d	1	J														寛政12年(1800)5月
190	蠟化石(平泉田鎗寺山之産)	標本	C-d	1	J														仙台 6久五郎相登ス
191	黒石	標本	C-c	1	J														寛政12年(1800)5月
192	皿貝土(気仙郡立様村之産)	標本	C-c	1	J														仙台 6久五郎相登ス
193	松葉石(盤井郡衣川之産)	標本	C-c	2	J														寛政12年(1800)5月
194	矢之根石(同郡東山長坂村之産)	標本	C-b	1	J														仙台 6久五郎相登ス
195	鍾乳石	標本	C-c	1	J														仙台 6久五郎相登ス
196	小貝化石同産	標本	C-d	1	J														寛政12年(1800)5月
197	胡麻石	標本	C-c	1	J														仙台 6久五郎相登ス
198	荔枝石(中尊寺山中 6掘出ス)	標本	C-c	1	J														寛政12年(1800)5月
199	土器	標本	C-b	1	J														仙台 6久五郎相登ス

200	管玉 和劔三輪之産	標本	C-b	4	J								仙台も久五郎相登ス	寛政12年(1800)5月
201	マンチウ石	標本	C-c	1	J								仙台も久五郎相登ス	寛政12年(1800)5月
202	南部胎石(中尊寺七宝柱二有之)	標本	C-c	1	J								仙台も久五郎相登ス	寛政12年(1800)5月
203	青硝子	その他の工芸品類	Q-e		O								仙台も久五郎相登ス	寛政12年(1800)5月
204	木目石	標本	C-c	1	J								仙台中安部彦之丞殿より被贈候事	
205	蘭製銀卓下花入	花器類	L	1	H	4							天野子取次 加賀(ママ)忠兵衛	
206	来物無名脇差身	武具・刀装具類	E-c	1	J	5	2						上村屋幸八	
207	鉄鏢(但菊水彫有之)	武具・刀装具類	E-h	1	J	1	2							
208	唐履(但縫有之)	調度・什器類	G-k	1足	C		3							
209	和蘭硝子画額 人物并牛冢之画	美術工芸品類	M-j	1	H	1	1						疋田李兵衛	
210	和蘭銅版人物額	美術工芸品類	M-i	1	H		2						疋田李兵衛	
211	壺笠目貫	武具・刀装具類	E-i	1	J	1							上村屋幸八	
212	時代大縁	武具・刀装具類	E-l	1	J		3						平新	
213	二ノ切鯨	武具・刀装具類	E-o	1	J	1	2						上村屋幸八	
214	陶器 泉劔陶器荘	調度・什器類	G-a	1	J								森川曾五郎殿も被贈	
215	陶器 泉劔陶器荘	調度・什器類	G-a	1	J								天野氏も被贈	
216	行基焼蓋物	調度・什器類	G-a	1	J					5	5		銭屋又兵衛	
217	紅革糸針入	調度・什器類	G-i	1	O	1	2						疋田李兵衛	
218	紅革小道具入(但手箭石筆仕込入)	調度・什器類	G-i	1	O	2	3	2					疋田李兵衛	
219	虫ノ琥珀緒	服飾類	F-c	1	J		2						疋田李兵衛	
220	時代亀蒔絵枕	調度・什器類	G-b	1	J		2						銭屋又兵衛	
221	多賀城瓦	標本	C-a	1	J	2							仙台中大平氏も被贈	
222	埋忠明寿短刀	武具・刀装具類	E-d	1	J	2							上村屋幸八	
223	ヲシ鳥色絵縁	美術工芸品類	M-h	1	J	1							上村屋幸八	
224	時代小柄(唐艸ニ紋瓦字有之)	武具・刀装具類	E-j	1	J		3						上村屋幸八	
225	時代牡丹獅子縁	武具・刀装具類	E-m	1	J		2						上村屋幸八	
226	白生鯨	武具・刀装具類	E-o	1	O	7							堤氏	
227	翠簾貝 南紀之産	標本	C-g	1	J								堤氏より被贈	
228	蘭製小顕微鏡(但内一ツ藤井仙助殿へ贈ル)	観測機器類	R-f	2	H						17		疋田李兵衛	
229	貞宗小刀	武具・刀装具類	E-d	1	J		2						蕉園君	
230	蝦夷アツシ縫服二重付	服飾類	F-a	1	J						36		相州松崎屋与兵衛	
231	白鷗全皮	標本	C-i	1	O		2						疋田李兵衛	
232	鶴図小柄	武具・刀装具類	E-j	1	J	2	1						上村屋幸八	
233	矢之根石	標本	C-b	3	J								但享和元年四月九日久五郎仙台も掃箒贈ル	享和1年(1801)4月
234	和蘭人物額男女 匣にイタシ有之	美術工芸品類	M-i	2	H	2	2						但銀地置上間五郎兵衛取次	
235	魯西亜金銭 目貫ニ致置	武具・刀装具類	E-i	2	O								上村屋幸八	
236	時代貝尽小柄	武具・刀装具類	E-j	1	J		2						蕉園君	
237	時代牛之色絵竿	その他の工芸品類	Q-h	1	J		2						上村屋幸八	
238	蘭画大額 ツイタテニモナル	美術工芸品類	M-i	1	H		3							
239	慶長年間大金燈爐	調度・什器類	G-c	1	J								渡辺三衛門も贈ル	
240	画帳(但艸木禽獸蟲魚類) 森春溪画	美術工芸品類	M-d	12	J							銀四両	拾貳枚ニ付銀四両	
241	蛭銭摺帖(手製)	その他の工芸品類	Q-h	1箱	J									
242	小顕微鏡(但内一ツ藤井千仙助殿へ贈ル)	観測機器類	R-f	2	H						17		疋田李兵衛	
243	鱸小地平考器	観測機器類	R-e	1	O		2						疋田李兵衛	

244	上毛国榎名国分寺瓦(但榎名一字裏ニ有之)	標本	C-a	1	J								仙台中佐藤正太夫殿 被贈候事享和元西九月喜助持登ル	享和1年(1801)9月
245	時代色絵浪ニ雷小柄	武具・刀装具類	E-j	1	J		2	2					上村屋幸八	
246	小刀(乱焼無名)	武具・刀装具類	E-d	1	J								上村屋幸八	
247	弘良察時斗(但裏ニ二人子供遊之焼付瑠璃色地)	精密機器類	S-a	1口	F	8	2						疋田奎兵衛	
248	雙雁彫刻玉	その他の工芸品類	Q-a	1	J	1	1						蕉園君 求呉候頼来得ル	
249	管玉凡四拾六七・古鏡・土鏡・古鈴	標本	C-b	4	J						18		森川	
250	弘良察時斗クサリ	精密機器類	S-b		F					7	2		加賀屋忠兵衛	
251	金絵銘酒徳利	酒器類	H-a	9	J	7	1						加賀屋忠兵衛	
252	縁金台コップ	調度・什器類	G-c	1	O						21	5	加賀屋忠兵衛	
253	唐金竜之口	調度・什器類	G-c	1	C							220	疋田善兵衛	
254	菱形燈籠	調度・什器類	G-c	1	J							23	右ハ上古裡四隅ニ被釣候所近來古風を口候所御再建己來古菱形出来ト云々右之品ハ古之品也委曲別帯ニ有之天満天神>>門道具ヤニテ与風見当リ求ル長宝すべし 鳴戸物語ニ有よし 文化十年癸酉出府之砌白川侯へ献上	
255	嘉慶七年曆	書籍	A	1	J						6	5	加賀屋善藏	
256	鉄輪入和蘭大桶	調度・什器類	G-k	1	H	2	2						疋田善兵衛	
257	大シャコ具	標本	C-g	1	O						45		疋田奎兵衛	
258	鉄輪入和蘭大桶	調度・什器類	G-k	1	H						32		疋田奎兵衛	
259	玉(竜彫妙品)	その他の工芸品類	Q-a	1	C								疋田奎兵衛	
260	硝子画人物額	美術工芸品類	M-j	1	O	1	1						疋田奎兵衛	
261	小箱入顕微鏡	観測機器類	R-f	1	O	2	2						疋田奎兵衛	
262	大石氏手筋 懸物に致候	美術工芸品類	M-k	1	J	1	2						疋田善兵衛	
263	玉雨竜彫	その他の工芸品類	Q-a	1	C	1							蕉園君 頼来	
264	蘭製小錠(但鍵老ツ添)	調度・什器類	G-i	3	H		1	1					疋田奎兵衛	
265	和製金革(机ニ張事)	調度・什器類	G-g	1枚	J		2	2					疋田奎兵衛	
266	鉄小風爐	茶道具類	J-g	1	J		2	2					銭屋又兵衛	
267	机時斗	精密機器類	S-a	1	O	17							田仁	
268	晴雨昇降器	観測機器類	R-b	1	O	9							加賀屋忠兵衛	
269	土器匣人	標本	C-b	1枚	J								右者公方様年始之節御老中方エ被下候御杯之由ニテ到来 享和二年戌之冬安治清兵衛江戸 6 婦候節為土産贈也	享和2年(1802)冬
270	忍石	標本	C-c	1	J									享和2年(1802)冬
271	松化石 小石也	標本	C-e	1	J								享和二年戌之冬安治清兵衛江戸 6 婦候節為土産贈也	享和2年(1802)冬
272	栗化石 小石也	標本	C-e	1	J								享和二年戌之冬安治清兵衛江戸 6 婦候節為土産贈也	享和2年(1802)冬
273	杉化石 小石也	標本	C-e	1	J								享和二年戌之冬安治清兵衛江戸 6 婦候節為土産贈也	享和2年(1802)冬
274	唐物書棚	調度・什器類	G-h	1	C	6							右ハ姫路道具屋 6 元ニテ売兼候ニ付利右衛門を以相頼也	
275	金革鏡 西洋産	調度・什器類	G-g	1	O	1	3						疋田奎兵衛	

313	大形弘良察時計	精密機器類	S-a	1	F	4	1						加賀屋忠兵衛 右子シ鑑 代ニツ拾六匁 三匁五分 拾九匁五分	
314	大明一統史	書籍	A	60巻	C	2	2	2					加賀屋善藏	
315	火鉢 妙品(但銀象嵌雲竜様文字年号有之元至正戊戌十八年トアリ文化元年甲子迄通計四百六十四年)	調度・什器類	G-c	1	J					465			正田善兵衛	文化1年(1803)
316	大仏金物手觸 右白川御家中堀田氏へ進物	調度・什器類	G-c	2	J					7			大五	
317	大仏断手爐掩	調度・什器類	G-c	2	J					8			正田善兵衛	
318	大仏扉大金物	調度・什器類	G-c	2	J					62			匹せん(正田善兵衛?)	
319	蘭製銀笛	楽器類	O-a	1	H			3					正田奎兵衛	
320	木細工大カヒル	その他の工芸品類	Q-f		J								右ハ源助江戸ヨ帰候節到	
321	金欄手猪口 五重一組	酒器類	H-a	1	J	2		2					加賀屋忠兵衛	
322	ロントンの囃皿紗	服飾類	F-b	1	O	1	1							
323	人形手銀草 妙品	調度・什器類	G-g	1	O	5	1	2					越後屋林輔	
324	画入漢製人形	その他の工芸品類	Q-b		C			2					正田奎兵衛	
325	アカートステーン 人面彫印 茶わん形	その他の工芸品類	Q-h	1	O		1	2						
326	広東菓子入	調度・什器類	G-a	1	C					21	5			
327	弘良察時計(但銀鍍金針)	精密機器類	S-a	1	F	4							加賀屋忠兵衛	
328	呉苧草下花器	花器類	L		C	1							かさや宗兵衛	
329	南京染付印籠	美術工芸品類	M-n		C					12			加賀屋忠兵衛	
330	駕籠紗切	服飾類	F-b	1	O	1	2						正田奎兵衛	
331	蘭製小望遠鏡	視測機器類	R-c	1	H	1	2							
332	大蠟石獅子鈕印(右之石へ勅学文虚舟彫申付ル)	文房具類	N-j	1	H		2						正田奎兵衛	
333	光琳印籠	美術工芸品類	M-n	1	J		2						加賀屋善藏	
334	革匣 トケイ入ニナル	精密機器類	S-b	1	O		2	2					正田奎兵衛	
335	紅毛丸形鉄瓶	茶道具類	J-f		O		2						江戸喜右衛門ヨ相登ス	文化2年(1804)4月
336	古代鉄燈籠 浪に竜之もよぶ	調度・什器類	G-c		J							銀式杖	依屋竹吉 右之品鉄燈籠下ヲヒニ金尙両ニテ遺ス	
337	大形暗計利亜時計(但表ニウイツトロン文字アリ)	精密機器類	S-a	1	U	4							加賀屋忠兵衛	
338	広東焼角小皿(但内五枚人物画五枚牡丹花之画有之)	調度・什器類	G-a	10	C					85			正田奎兵衛	
339	広東丸型菓子入	調度・什器類	G-a	1	C					30			加賀屋忠兵衛	
340	赤地かぶり皿紗	服飾類	F-b	1	O					27	5		正田奎兵衛	
341	爪石	標本	C-c	1	J					7	5		正田奎兵衛	
342	蘭製千里鏡(但硝子画筒草艸(ママ)人物等有之)	視測機器類	R-c	1	H					50			加賀屋忠兵衛	
343	珍品 暗計利亜製毛織敷物(但長サ式間幅縮ニテニ尺八寸)	調度・什器類	G-f		U		6	2					江戸出役喜右衛門ヨ登ス	
344	和製タンツウ	調度・什器類	G-f	2枚	J					86			正田奎兵衛	
345	時代大台火鉢	調度・什器類	G-h	1	J					300			正田奎兵衛	
346	妙品玉子様革匣	調度・什器類	G-g		J	8	2						但江戸出役喜右衛門ヨ為登越候事	
347	琉球産蛇味線	楽器類	O-b	1	J	1	2							
348	琉球産小食籠	調度・什器類	G-e		J							代銀一枚	銭屋又兵衛	
349	虎皮提物	調度・什器類	G-g	1	O					91			越後屋林輔	
350	蘭製小地球図(但金革匣之蓋ニ張置)	美術工芸品類	M-i	1	H							式歩銀三匁	正田奎兵衛	
351	白地毛織赤モウウ切(但ドウ着ニ成)	服飾類	F-a	1	O					110			正田奎兵衛	

352	硝子角台コップ	調度・什器類	G-d	1	O					43			疋田李兵衛
353	唐作小刀 則根付	美術工芸品類	M-m	1	J					30			疋田李兵衛
354	青硝子ホタン	服飾類	F-e	1	O			1					加賀屋忠兵衛
355	躰菊もやう火入(但金屋五郎三郎作)	調度・什器類	G-c	1	J					70			俵屋竹吉
356	手製画帖(但表栴赤錦)	美術工芸品類	M-d	7	J								
357	時計鉄クサリ	精密機器類	S-b	1	O			3					加賀屋忠兵衛
358	硝子手附瓶	調度・什器類	G-d	1	J					48			加賀屋忠兵衛
359	三重輪時計(但文字ニ直し有之)	精密機器類	S-a	1	O	4	2						疋田李兵衛
360	和蘭名酒徳利入匣(但大徳利六 小徳利五 ショウコ老 コップ大式 コップ小式 シタミ大コップ老)	酒器類	H-a	17	H					365			加賀屋忠兵衛
361	硝子蓋物	調度・什器類	G-d	1	O					57	5		疋田李兵衛
362	チャン塗花タハコ入(但地鉄もやう人物山水)	喫煙道具類	I-d	1	O	1	2						江戸出役喜右衛門 〆 登ス
363	時計文字焼表(但内老枚画入)	精密機器類	S-b	2	O			2					江戸出役之者 〆 為 登来
364	蠟皮	標本	C-i	2枚	O					19	5		福吉
365	蠟虎皮敷物	調度・什器類	G-g		O	1	2						丈輔仙台 〆 掃坂之節携来
366	蘭製燭台	調度・什器類	G-c	1	O	1	2						疋田李兵衛
367	竹花生(但但馬北海ニ漂流異国之産同処道具屋中屋甚左衛門より到来)	花器類	L		J								中屋甚左衛門
368	嘉慶丁卯曆	調度・什器類	G-k		J					8			加賀屋善蔵
369	紅革石筆挿入	文房具類	N-l	1	J			2	2				疋田李兵衛
370	玉杯	酒器類	H-e	1	C	3	2						疋田李兵衛
371	小硝子台付格府(但キヤマン彫アリ)	調度・什器類	G-d	1	O					30			疋田李兵衛
372	大形琉球提重(但)	調度・什器類	G-b	1	J	2							
373	華夷変態	書籍	A	5枚	J			2	2				森川取次
374	絶品 弘良寮製時計(但三本針仕掛ナシ自然ニ動クニハカ金 江戸総屋友七疋田取次代金三拾五両疋田李兵衛渡)	精密機器類	S-a	1	F	35							疋田李兵衛
375	紫水晶	標本	C-c	1	J					30			疋田李兵衛
376	蘭製挿入金物	調度・什器類	G-c	1	H	1	1						疋田李兵衛
377	蘭製サナタ(但銀ナリ提物ニ成)	調度・什器類	G-c		H			3					疋田李兵衛
378	時計サヤ	精密機器類	S-b		O			2					疋田李兵衛
379	蘭製硝子掛燈	調度・什器類	G-d	1	H	3							疋田李兵衛
380	蘭製煙管	喫煙道具類	I-b	1匣2本	H					5			
381	蝦夷細工印籠(右八家中今村常次殿御用ニテ右蝦夷へ被參候節被持帰候品ニテ申受相贈候事)	美術工芸品類	M-n	1	J								但喜右衛門掃坂之節仙台 〆 携帰
382	紫檀葉籠(但蘭写)	美術工芸品類	M-n	1	J					50			
383	唐物チンキン猪口(但籠右之台添)	酒器類	H-b	5	C					100			かさや宗兵衛
384	平形唐物籠挾匣	調度・什器類	G-e	1	C					35			疋田李兵衛
385	唐物硝子細工道丸	美術工芸品類	M-o	1	C					8	5		
386	自東都蝦夷迄測量図	地図	B	1	J			1	2				森川
387	妙品 紋鼠胸服(但空色緞子表)	服飾類	F-a	1	O	9	1						越後屋林輔
388	硝子金絵銘酒入(但大式代百六拾目中ニ代百六拾匁小老代四拾匁)	酒器類	H-d	1組	O					360			加賀屋忠兵衛
389	硝子金画入子三ツ組	調度・什器類	G-d	3	O								疋田李兵衛

390	人形手革道乱(代金三兩式朱右革代 同老兩式歩ヲシメ代 銀七拾九匁七分五リ金カナ物代 同三拾目根付代 同拾式匁九分仕立代)	美術工芸品類	M-o		J	3		2										
391	黒坊皿紗 蘭之包ト云 小風呂敷	調度・什器類	G-f	1	O						73							疋田李兵衛
392	真鍮小野風爐(但朱わく付)箕山好	茶道具類	J-g		J						150							
393	鉄砲形根付	美術工芸品類	M-m	1	J						22							はり吉
394	和蘭硝子カンフラスコ	調度・什器類	G-d	2	H						12							
395	象牙印両面(一方重芳 一方万寿無疆)右朱字印刻	文房具類	N-j		J										代金五百疋			前川清記
396	硝子台コップ(但ホリ物有之)	調度・什器類	G-d	1	O				2	2								かさや宗兵衛
397	妙品 硝子絵角台コップ	調度・什器類	G-d		J													右ハ仁右衛門依東都帰坂之節到来
398	シン子ヘールデン	書籍	A	1巻	O										代金五百疋			疋田李兵衛
399	長崎細工蘭画金物	美術工芸品類	M-i	1	J	15												疋田李兵衛
400	椰子材	標本	C-h	1本	J			7	5									
401	黒坊更紗小ふくさ(但蘭ト包ト云)	茶道具類	J-h		O	35												疋田李兵衛
402	南京瓢成小徳利(但酒器)	酒器類	H-a		C						43							笠葱
403	和蘭指輪	服飾類	F-d	1	H						17	5						疋田李兵衛
404	蝦夷矢 弓 矢筒	武具・刀装具類	E-g	1組	J													清兵衛從江戸帰坂之節携帰
405	蝦夷菓子盆	調度・什器類	G-e	1	J													清兵衛從江戸帰坂之節携帰
406	蝦夷紐	服飾類	F-c	1	J													清兵衛從江戸帰坂之節携帰
407	内象銅板図	地図?	B	1	O													清兵衛從江戸帰坂之節携帰
408	硝子長コップ	調度・什器類	G-d	1	O						20							疋田李兵衛
409	硝子金面六重猪口	酒器類	H-d	2	O						130							加賀屋忠兵衛
410	蝦夷履(但唐鷲之産)	調度・什器類	G-k	1足	J						23							疋田李兵衛
411	蝦夷爐上自在	調度・什器類	G-k	1	J						2	5						疋田李兵衛
412	蝦夷木壺器	調度・什器類	G-e		J													七兵衛殿到来
413	蝦夷杓	調度・什器類	G-k	1	J													仁右衛門到来
414	銅瑛(但仙台加美郡両名産)	標本	C-c	1	J													平井大吉殿御国より帰坂之節到来
415	平家蟹	標本	C-k	1	J													平井大吉殿御国より帰坂之節到来
416	珍品 万曆手小徳利(但錦手也鳳凰之口有)	酒器類	H-a		C						100							加賀屋忠兵衛
417	珍品 安南影研(但紫石人物五有之)	文房具類	N-f	1	C	3												文玉堂
418	蝦夷弓	武具・刀装具類	E-g	1	J													但相州松与(相州松崎屋与兵衛)到来 清兵衛帰坂之節携
419	名取川埋木(但掛目五貫目程)	その他の工芸品類	Q-g		J													右ハ願上候所拝領被為仰付候事
420	竜川形古墨	文房具類	N-c		J										代南鎌老斤			越助
421	和蘭焼茶碗	茶道具類	J-a	1	H						50							加賀屋忠兵衛
422	和蘭焼牛之水滴	文房具類	N-i	1	H			3										加賀屋忠兵衛
423	蘭写机	調度・什器類	G-h	1	J													
424	名取川埋木板	その他の工芸品類	Q-g		J													御国ニテ弥七吟味いたし廻船しニテ着坂文化五年戊辰六月廿二日
425	古渡 天子万年墨	文房具類	N-c	1	C			2										
426	鶴杯洗鉢コンストホンティン	酒器類	H-c	1	O						80							すゝ武
427	妙品 蘭製金更紗切(但獅子ニ花有之)	服飾類	F-b		H													代 200疋
428	琉球革金画小匣	調度・什器類	G-g		J	1	2											疋田李兵衛
429	革サヤハアカ入	服飾類	F-e	1	J		2											右断

430	県志	書籍	A	22部	J					303	6			右断	
431	象牙磁石	観測機器類	R-d	1	O									足田善兵衛	
432	銀無垢コップ	調度・什器類	G-c	1	O					105	2			足田善兵衛	
433	丹州亀山御城西下西(阿部清明館跡ト云有其地之古瓦)	標本	C-a		J									丈輔携帯	
434	丹州国分寺瓦	標本	C-a		J									右ハ帯刀様も到来丈輔携帯	
435	蘭製人物硝子画	美術工芸品類	M-j	1	H										
436	赤紫黒藻玉	標本	C-h	3	J										
437	鯨脛骨	標本	C-i	1	J									天野行庵子も到来	
438	古物鈴	その他の工芸品類	Q-d	1	J					10				足田李兵衛	
439	白和蘭焼盃台	調度・什器類	G-a	1	H									足田李兵衛	
440	真鍮毛彫小ブレイキ	その他の工芸品類	Q-d		O					13	5			足田李兵衛	
441	奇虫歌絵画(但兩人未詳)	美術工芸品類	M-a	2巻	J								代銀式枚	はりまや九兵衛	
442	懸志二十老部	書籍	A	21部	J					319				足田李兵衛	
443	小千里鏡	観測機器類	R-c	1	O		2	c						但久五郎江戸も掃坂之砌携帯	
444	南京染付香爐(但盃台ニも成)	香道具類	K-b	1	C					25				俵屋竹吉	
445	硝子キヤマン白小格府	その他の工芸品類	Q-e	1	O					12	9			足田李兵衛	
446	祥瑞茶碗(但飛鳥藍画)	茶道具類	J-a	1	C					180				足田善兵衛	
447	硝子糸巻筋う入コップ	調度・什器類	G-d		O					25				足田李兵衛	
448	皿紗小服紗 黒坊さらさ小形なり	茶道具類	J-h	1	O					300				足田李兵衛	
449	エトロフ松皮香合	香道具類	K-a		O									但右皮ニテ研匣ニテ日野英馬殿も久五郎へ被贈候所道中ニテ痛依テ右皮ニテ箕山香合を造ル	
450	保元時代香合(但角錫椀花もやぶ)	香道具類	K-a		J					60				足田善兵衛	
451	皿紗中服紗 黒坊 (但紅革匣包ニ用ユ)	茶道具類	J-h		O			3						足田李兵衛	
452	和蘭大鏡	その他の工芸品類	Q-d		H	12								足田李兵衛	
453	朝鮮異体文字 反古本一葉	書籍	A		K									右者文化五年戊辰冬但州一日市之浜へ異国船漂着則朝鮮盛鏡道之商民の由同所黒寄氏ヨリ到来	文化5年(1808)冬
454	和蘭蠟細工人形	その他の工芸品類	Q-h		H					8				足田李兵衛	
455	硝子角大フラスコ	調度・什器類	G-d	2	O					96				加賀屋忠兵衛	
456	糸細工冠物	美術工芸品類	M-q	1	J					28				加賀屋忠兵衛	
457	硝子小台コップ	調度・什器類	G-d		O					17					
458	堆朱水飲	調度・什器類	G-b		C					26					
459	大坂陣之図	美術工芸品類	M-a	1幅	J					20				義兵衛	
460	備後国三原住正家短刀	武具・刀装具類	E-d	1	J										
461	雲谷寺等番画巻	美術工芸品類	M-b	1	J									右両品文化六年巳年夏布施又吉依御国掃坂之砌安部清治殿も被贈下候由ニテ携帯ル	文化6年(1809)
462	徹山君観心院君御兩筆御詠	美術工芸品類	M-k	2幅	J									文化六年又吉も贈ル	文化6年(1809)
463	雄山君御筆	美術工芸品類	M-k	1軸	J									文化六年又吉も贈ル	文化6年(1809)
464	鉄鏝(但葵之彫)	武具・刀装具類	E-h	1	J									布施又吉も贈ル	
465	蝦夷物手拭懸	調度・什器類	G-h		J									斎藤左五郎殿も被贈下候事	
466	蝦夷物断弓矢	武具・刀装具類	E-g	1手	J									今村常次郎殿も被贈下候事	
467	山刀 身ノコキリ	調度・什器類	G-i	1腰	J									足田李兵衛	

468	丹后国分寺瓦	標本	C-a	1腰	J															右二品善左衛門亀山 <small>も</small> 携帰ル	
468	丹后桜石	標本	C-c	1	J															善左衛門亀山 <small>も</small> 携帰ル	
469	山刀	武器・刀装具類	E-q	1	J															小形分七兵衛殿より到来	
470	禁庭土器	標本	C-b	2枚	J															丈助 <small>も</small> 到来	
471	南蛮小刀	武器・刀装具類	E-d	1	O														代南録沓片	越助	
472	囃計児	その他の工芸品類	Q-h	.	O	8														河六	
473	蝦夷大弓	武器・刀装具類	E-g	1張	J															今村常治殿 <small>も</small> 到来	
474	蒔絵五人前弁当(但膳碗飯杓子共外匣青貝入)	調度・什器類	G-b	1	J	3	2	2												かさや宗兵衛	
475	梨子地杯台(但蒔絵友治作)	酒器類	H-b	1	J															疋田善兵衛	
476	光淋鶴懸物	美術工芸品類	M-a	1	J															俵屋竹吉	
477	時代艸花小柄	武器・刀装具類	E-j	1	J	1	2	2												長浜屋文次	
478	唐鐙	武器・刀装具類	E-p		C															右ハ亀山へ出候節同所松井左右平殿 <small>も</small> 到来	
479	時代果物籠	調度・什器類	G-e		J		2	2												銭屋又兵衛	
480	南部山家簞盤	調度・什器類	G-k		J															七兵衛殿 <small>も</small> 到来 愚按諭キサミ也	
481	唐開扇	その他の工芸品類	Q-h	1	C		2														
482	唐物金縁盆	調度・什器類	G-c	5	C															疋田善兵衛	
483	時代柄形小柄	武器・刀装具類	E-j	1	J															長浜屋文次	
484	金無垢艸花小柄	武器・刀装具類	E-j	1	J															長浜屋文次	
485	赤銅相縁 □正明寿作	武器・刀装具類	E-m		J															長浜屋文次	
486	時代土佐画小屏風	美術工芸品類	M-e	1双	J	3														俵屋竹吉	
487	時代蒔絵茶匣(但横笛蓬生もやぶ)	茶道具類	J-c		J	3														かさや宗兵衛	
488	時代把牡丹目 <small>ム</small>	武器・刀装具類	E-i		J			3												長浜屋文次	
489	蝦夷匙	調度・什器類	G-k	1	J															但喜右エ門 <small>も</small> 為登来	文化8年(1811)6月
490	気仙籠(但茶匣用ニテ申付ル)	茶道具類	J-c	1	J	1															
491	鍮風爐(但宝三字并永享三年八月吉日ト有之)	茶道具類	J-g	1	J	3														疋田善兵衛	
492	和蘭物流金笛	楽器類	O-a		H															堤取次 長浜屋文次	
493	大仏大矢数之矢	武器・刀装具類	E-g		J															右ハ阿部播磨公之家中被用被由奥山取次	
494	黒柿菓子匣(但引竜并九曜御紋彫有)	調度・什器類	G-e		J																文化8年(1811)10月
495	雉子作物(但右ハ仙台御城ニ之丸焼後上棟之節御鋳物之よし)	その他の工芸品類	Q-h	1番	J																文化8年(1811)10月
496	大駅路鈴	その他の工芸品類	Q-d	3	J															右ハ弥七仙台 <small>も</small> 掃坂之砌 <small>も</small> 土産到来	文化8年(1811)10月
497	時代大鉄瓶	茶道具類	J-f	1	J	2	3													疋田善兵衛	
498	俵秀卿所持矢	武器・刀装具類	E-g	1	J															但南都元興寺塔中奉納之品ト云々委曲伝来書有之三郎兵衛 <small>も</small> 到来	
499	亀山侯三河 <small>も</small> 御携之矢六本(但山鳥之羽)	武器・刀装具類	E-g	6	J															亀山 <small>も</small> 到来	
500	福島正則公所持矢(但上指共七本 鷲羽)	武器・刀装具類	E-g	7	J															右二品亀山 <small>も</small> 到来	
501	名取川大埋木	その他の工芸品類	Q-g	7枚	J															御国 <small>も</small> 取寄候事	
502	人形酒欠(但金欄手万曆もの)	酒器類	H-a		J															加賀屋忠兵衛	
503	朝鮮砂張小燭	調度・什器類	G-c		K															加賀屋忠兵衛	
504	天正時代木材	その他の工芸品類	Q-g		J															但亀山城御城天守之古材也折節御普請有之候故出役丈輔を以申受ル彫字在之	

505	海部短刀	武具・刀装具類	E-d		J												但亀山御家中轟見氏より被談候事
506	安南彫古研匣 小三郎へ遺ス	文房具類	N-g		O												代銀五両
507	時代菊栗形	その他の工芸品類	Q-g		J	1											長浜屋文次 堀取次
508	金革重研匣	調度・什器類	G-g		O	3											但喜右衛門江戸ニテ求登候事
509	蝦夷婦人細工風呂桶(但夷名イタラビット云)	調度・什器類	G-k		J												安治儀兵衛 到来村上源助持掃ル
510	蝦夷敷物(但夷名オニコウウンポンキナト云 右ハ夷人客来之砌屏風之心ニテ引回し候由)	調度・什器類	G-f		J												仙台御家中南館門市蔵 到来
511	十府菅菰(隣翁へ贈ル進物ニ相成候由)	その他の工芸品類	Q-h	1枚	J												同御家中成田孝内殿 到来
512	古弓(加須屋宗成ト有)	武具・刀装具類	E-g	1件	J	1											奥山
513	和蘭焼徳利(但手付口至テ少)	酒器類	H-a	1	H						3	5					平次郎
514	和蘭焼小皿(但藍絵)	調度・什器類	G-a	1	H							12					疋田奎兵衛
515	南京平鉢	調度・什器類	G-a	1	C							13					疋田奎兵衛
516	西瓜金香爐 漢時代 竜馬	香道具類	K-b	1	C												代銀五枚 かさや宗兵衛
517	西洋もの 桶成薄鉄器	調度・什器類?	G-c	1	O							23					疋田奎兵衛
518	妙品和蘭焼筒茶碗	茶道具類	J-a	1	H							65					加賀屋忠兵衛
519	漢時代 象眼懸板	その他の工芸品類	Q-g	1対	C	5											依屋竹吉
520	蚕製刺刀	武具・刀装具類	E-f	1	O								15				長文次郎
521	萩防禦門画懸物(但梅枝菊之図)	美術工芸品類	M-a		J								60				依屋竹吉
522	古矢根	武具・刀装具類	E-g	5本	J								20	9			奥山
523	砂張茶巾盤	茶道具類	J-j	1	J								18				疋田奎兵衛
524	青磁石菖鉢	調度・什器類	G-a	1	J								200				加賀屋忠兵衛
525	土佐光超画(但猿丸大夫家持)	美術工芸品類	M-a	2幅	J												代銀貳枚 依屋竹吉
526	□(等か)祝猿画まくり	美術工芸品類	M-a	2枚	J								16				依屋竹吉
527	時代蒔絵弁当(但梨地稻之もやふ)	調度・什器類	G-b		J								35				かさや宗兵衛
528	高台寺蒔絵弁当(但丸形一人前)	調度・什器類	G-b		J												代銀二枚 依屋竹吉
529	細工物雉子	その他の工芸品類	Q-d	2羽	J												但仙台御城二之丸上棟之かさり物之由ニテ弥七 到来
530	浄味鉄燈籠	調度・什器類	G-c		J	3											疋田善兵衛
531	丹州国分寺跡 掘出陶器	標本	C-b	2	J												同所庄屋某 到来右ハ小右工門堀坂候節持掃
532	南蛮水家壺(但居間手水鉢ニ用ゆ)	調度・什器類	G-a	1	O							135					
533	所翁竜之図	美術工芸品類	M-a		J								215				銭屋又兵衛
534	時代文匣(但本ハヒチリキ匣乎)	文房具類	N-d		J		2										かさや宗兵衛
535	時代鬼板瓦	標本	C-a		J	1											うゑ徳
536	舜竽画懸物	美術工芸品類	M-h		C	3											加賀屋忠兵衛
537	野广片羽	標本	C-j		J												後藤清右衛門殿 到来
538	鍋置物 錫渋脂	その他の工芸品類	Q-d		J												右ハ亀山帯刀君 善左衛門罷出候節御座ニテ被下候事
539	江都真景	美術工芸品類	M-a	3組	J	5											
540	唐もの 青貝酒宴盆(但芙蓉おし鳥画)	調度・什器類	G-b		C			2	2								銭屋又兵衛
541	和蘭焼花器	花器類	L		H		3	2									加賀屋忠兵衛
542	時代研匣(鈴鳥のもやふ)	文房具類	N-g		J			2	2								かさや宗兵衛
543	英一蝶懸物(但安宅図)	美術工芸品類	M-a		J												依屋竹吉
544	枝珊瑚樹根付	美術工芸品類	M-m		J	2	1										加賀屋忠兵衛
545	時代小広蓋(鶴松松竹もやう)	調度・什器類	G-b	1	J												代銀貳枚 かさや宗兵衛

546	哥仙巻物(画人未詳)	美術工芸品類	M-b	1	J							南鐙老片	かさや宗兵衛
547	角かんとう焼 和蘭はな煙挿入	喫煙道具類	I-d	1	H					35			加賀屋忠兵衛
548	黒妻紅家具 平皿斗	調度・什器類	G-e	100人前	J					750			かさや宗兵衛
549	古兜	武器・刀装具類	E-q	1	J								右者鶴見右衛門介殿到来
550	地理図(彩色入)	地図	B	48	J	10							加賀屋忠兵衛
551	崑珊瑚	標本	C-i	1本	J					12			疋田奎兵衛
552	寄腸製尺時計	精密機器類	S-a	1	O	4							墨屋平兵衛
553	懸物神楽舞鱗蛇之図(但永徳筆)	美術工芸品類	M-a		J			3					俵屋竹吉
554	鏝船形火入(底に宝徳永無滅之五文字有之)	調度・什器類	G-c		J					35			加賀屋忠兵衛
555	唐物朱経机	調度・什器類	G-b	1	C							代銀老枚	加賀屋忠兵衛
556	時代松茸籠茶匣	茶道具類	J-c		J					19			疋田善兵衛
557	和蘭丸形コヲクル(但俗広東焼ト云タンバカ)	調度・什器類	G-a		H	1	3						
558	本国織京錦他	服飾類	F-b		J		3						井手左平
559	今戸焼蛙手爐	香道具類	K-b		J								右者青木仁右兵衛到来
560	和蘭鉄大形置燈	その他の工芸品類	Q-d		H	1	2						加賀屋忠兵衛
561	島後藤猿目貫	武器・刀装具類	E-i		J	2							堤取次長文次郎
562	瑪瑙傘石燈爐	調度・什器類	G-j		J							代銀拾枚	寺田氏珍蔵之処被讓候事堤取次
563	朝鮮焼陶器	調度・什器類	G-a	1	K								右ハ源助舅成井氏被吳侯由ニテ源助到来
564	朝鮮焼口付大壺(但手藤組)	調度・什器類	G-a		K							代銀式両	かさや宗兵衛
565	芳山深谷盆石	美術工芸品類	M-p		O		2						疋田善兵衛
566	赤石盆石	美術工芸品類	M-p		J								弥七到来
567	一蝶画雨中馬引図	美術工芸品類	M-a		J					21	5		加賀屋忠兵衛
568	明画牡丹大墾物	美術工芸品類	M-h		C					250			清兵衛取次右之品取戻ニ来相渡
569	南蛮沙張杓	調度・什器類	G-c		O					6			加賀屋忠兵衛
570	定家御墨跡懸物(但上下唐物緞子中風袋印金)右者古今珍敷物放求置	美術工芸品類	M-k		J		2			1			俵屋竹吉方云々匣ニ有
571	堆黒大食籠	調度・什器類	G-b		C	1	3						俵屋竹吉
572	和蘭角硝子細工物(草木禽獣内ニ有之)	調度・什器類	G-d		H	1							疋田奎兵衛
573	等伯猿猴画懸物	美術工芸品類	M-a		J						15		俵屋竹吉
574	多賀城全平瓦	標本	C-a		J								右者小右右衛門(山片蟠桃)御国被持婦到来
575	韃靼人面懸物(画人未詳)	美術工芸品類	M-a		J		3						清兵衛
576	志賀郡瓦	標本	C-a	1	J								岡野大助殿到来
577	羅山先生懸物	美術工芸品類	M-a	1	J		2	2					天嘉
578	唐渡屋茶碗写(但和州ニテ焼)	茶道具類	J-a		J					2			かさ宗
579	古渡革手匣(但銀かな物付)	調度・什器類	G-g		O	10							江戸久五郎為登来
580	朝鮮焼花入(但□□□字有之)	花器類	L		K								右ハ源助縁家到来
581	葡萄画懸物(画未詳)	美術工芸品類	M-a		J		3	2					加賀屋忠兵衛
582	高麗堅手麁香爐	香道具類	K-b	1	K	2							越助
583	朝鮮扇子	その他の工芸品類	Q-h	1	K					9	5		
584	朝鮮焼茶碗	茶道具類	J-a	1	K								右ハ京大柴院到来 此品亀山和田氏へ贈
585	漢時代廟器(但手付火鉢ニ用ユ)	調度・什器類	G-a	1	C	2							疋田善兵衛
586	蝦夷敷もの(但ヲニコウフンモノキナト云右ハ彼地ニテ屏風ニ用)	調度・什器類	G-f		J						17		疋田奎兵衛
587	時代鐙(但赤銅色絵唐花)	武器・刀装具類	E-l		J					180			長浜屋文次

588	陳猷章墨蹟	美術工芸品類	M-1		C	6						清兵衛	
589	竹山先生墨跡(但拓其善者而従之其不善者而改之 下有)	美術工芸品類	M-k	1幅	J				10			はりまや九兵衛	
590	妙品暗計児亜小千里鏡	視測機器類	R-c		U	2	2					右者久五郎江戸ら掃坂之御携掃	
591	時代太刀	武具・刀装具類	E-a	1腰	J	2						但支助京都ら求掃ル	
592	九ツ続三綿	服飾類	F-b	1組	J	4	1					お菊取次 右品お敬へ遣ス	
593	柳里恭牡丹画懸物	美術工芸品類	M-a		C	1		2				加賀屋忠兵衛	
594	寒雉作木兔香爐	香道具類	K-b		J				12	9		墨屋平兵衛 疋田へ遣ス	
595	江戸細工コンパス	視測機器類	R-e		J				20			久五郎江戸より携掃取次	
596	唐物古大鼓	楽器類	O-e		C							右ハ亀山銀札場役人中より到来	
597	時代赤銅絵鏢	武具・刀装具類	E-h		J	2	1	2				長浜屋文次	
598	鉄仙蒔絵角たらひ(但湯次添)	調度・什器類	G-b		J					118		山名殿取次	
599	相州助広刀	武具・刀装具類	E-b	1	J	6		2				藤吾取次	
600	等忠画懸物(但寒山拾得図)	美術工芸品類	M-a	2対幅	J				20			かさ屋宗兵衛	
601	志野火入	調度・什器類	G-a	1	J				8				
602	桃もやう十種香匣(内小札香盤試台打居有之)	香道具類	K-c		J					300		俵屋竹吉	
603	小枕時計(但十干十二支出し)	精密機器類	S-a		J	11						加賀屋忠兵衛	
604	源氏五十四帖(但阿野大納言実顕卿御染筆古筆了意 作 蒔絵匣ニ入有之)	美術工芸品類	M-d	1匣	J	3						加賀屋善藏	
605	楠公墨蹟	美術工芸品類	M-k		J					100		奥山取次	
606	大日如来像	仏像・仏具類	P-a		J						代銀老両	奥山取次	
607	雉刀(俵原藤太秀綱所持)	武具・刀装具類	E-e	老振	J	1	1					富永円藏取次	
608	古鉄義家公像	その他の工芸品類	Q-d		J		1					富永円藏取次	
609	常信画卷物	美術工芸品類	M-b		J	2	3	2				□(店カ)藤九郎取次	
610	黒ニ朱桐絵三重 希匣	調度・什器類	G-b		J	1	1					さか(ママ)宗(かさ屋宗兵衛)	
611	堆朱軸盆	調度・什器類	G-b	1	J					130		疋田全兵衛	
612	小ゴハン形菓子重	調度・什器類	G-b		J					100		かさ屋宗兵衛	
613	人丸木像	その他の工芸品類	Q-f	1	J					28		疋田善兵衛	
614	南蛮日傘	調度・什器類	G-k	1	O					19		疋田全兵衛	
615	真鍮四象限器(但文鎖ニも用ゆ)	文房具類	N-e	2本	O					30		疋田全兵衛 右間氏へ戌正月贈 る	
616	雪村雲竜懸物	美術工芸品類	M-a	1	J								
617	英一蝶 かまはらい同	美術工芸品類	M-a	1	J	2	3					加賀屋忠兵衛	
618	南京大瓢形酒入(但花生ニも用ゆ)	酒器類	H-a		C					150		かさ屋宗兵衛	
619	陳太刀(来国次作)	武具・刀装具類	E-a		J	6	2					右ハ文化十癸酉年仙台へ下候御 彼地ニテ求ム	文化10年(1813)
620	近衛基經公懷帯(上下 中 一文字風帯)	美術工芸品類	M-k	1幅	J		3					右同処ニテ求ム	文化10年(1813)
621	正法寺碗	調度・什器類	G-b	10人前	J	2						右同処ニテ求ム	文化10年(1813)
622	珍品 和蘭鏡	その他の工芸品類	Q-h		H	7	2					右同断江戸相与(相州松崎屋与 兵衛)ニテ求	文化10年(1813)
623	黒皮鞘コヲクル(内ハサミコ物柄小刀サシ コンバ スサシ 石筆)	視測機器類?	R-c		O	3	2	2				右同断	文化10年(1813)
624	黒鮫張内魚形コヲクル	その他の工芸品類	Q-h		O	2						右同断	文化10年(1813)
625	水牛打出花タバコ入	喫煙道具類	I-d		J	1						右同断 鉄次郎へ贈る	文化10年(1813)
626	新渡屏風箱香合	香道具類	K-a		O					25		右同断	文化10年(1813)
627	唐写磁石	視測機器類	R-d		J		3					右同断 平藏へ贈る	文化10年(1813)
628	イレキコヲクル(則祭道具タハコ盆ニ用)	喫煙道具類	I-c		O	7	1					右同断 相州松崎屋与兵衛	文化10年(1813)

629	一広東小鏡入香合	香道具類	K-a		C		3											右同断 お敬へ贈ル	文化10年(1813)
630	蘭製真鍮燭	調度・什器類	G-c	1対	H		2											右同断	文化10年(1813)
631	蘭小缶(ママ) 毬	楽器類	O-c		H		2											右同断	文化10年(1813)
632	野風爐入鴉籠(ママ)	茶道具類	J-g		J		2	1			13							右同所喜右エ門取次	文化10年(1813)
633	三島香物鉢	調度・什器類	G-a		J						18							仙台ニテ求ム掘出もの也	文化10年(1813)
634	南京平鉢(湯口入)	調度・什器類	G-a		C						17							加賀屋忠兵衛	
635	時代鍍鈔燈籠(但鶴の丸もやう有)	調度・什器類	G-c		J						60							正田善兵衛	
636	真鍮和蘭写(杯洗江戸細工)	酒器類	H-c		J						100							相州松崎屋与兵衛	
637	珠品 花煙艸入(但表象牙ニテ人物二人有之細工もの也)	喫煙道具類	I-d		C		3											江戸ニテ相求ム 相州松崎屋与兵衛	
638	時代鍍丸たはこ入(但巴之紋数々有)	喫煙道具類	I-a		J						10							かさ屋宗兵衛	
639	時代鉄竹形籠(吉井吉次郎所持)	その他の工芸品類	Q-h		J			3										富門藏取次 右二品おく山氏へ遣ス	
640	水徳観音面懸物	美術工芸品類	M-a		J						21	5						かさ屋宗兵衛	
641	和蘭剣之箱(外ニ緋ラセ板切四拾匂)	武具・刀装具類	E-r		H														
642	唐作真鍮観音像	仏像・仏具類	P-a		C			2										加賀屋忠兵衛	
643	象牙婦人根付	美術工芸品類	M-m		J						37	5						加賀屋忠兵衛	
644	古巨鑑(但弓師福山なるもの越前)	武具・刀装具類	E-g		J												代南鑑一片	敦(ママ)賀ニ行古家之下ニ掘候由携帰 奥山取次	
645	和蘭ブレキ(前後左右毛彫有)	その他の工芸品類	Q-h		H			2										正田李兵衛	
646	珠品 銀花タハコ入(但二重蓋之内実画ニ処有之)	喫煙道具類	I-d		C		3											江戸相与(相州松崎屋与兵衛)ニ求	
647	柳葉古巨鑑(但云々前条之通)	武具・刀装具類	E-g		J		1											奥山取次	
648	鉄箭	武具・刀装具類	E-r		J			3											
649	時代袖香爐	香道具類	K-b		J						7							正田李兵衛	
650	打根(但時代未詳)	その他の工芸品類	Q-h		J		1											奥山取次	
651	時代亀山御紋付御刀懸	武具・刀装具類	E-n		J													右ハ文化十一年戌三月松平図書殿出坂之御内ニ拝領被為仰付候事	文化11年(1814)3月
652	姫路天守瓦(但桐紋)	標本	C-a		J													右ハ亀山松平帯刀殿ニ到来	
653	正法寺膳	調度・什器類	G-b	10人前	J													但岡村新兵衛御国ニ会津へ用向有之御彼地ニテ求帰る事	
654	亀山御紋付 二重付(御刀懸、靱、笠)	武具・刀装具類	E-r		J													右ハ内ニ拝領之事	
655	時代繪面襖(餅一匹有之)	美術工芸品類	M-f	4枚	J		4											徳兵衛取次	
656	時代祇園人物遊之屏風	美術工芸品類	M-e		J		2											かさ屋宗兵衛	
657	文官太刀	武具・刀装具類	E-a		J													右ハ御向ニ到来	
658	時代守刀懸(鶴丸桐紋有之)	武具・刀装具類	E-n		J		2		2									御向取次	
659	葵祭絵巻	美術工芸品類	M-b		J						35							加賀屋善藏	
660	古人画像	美術工芸品類	M-a	1冊	J						25							加賀屋善藏	
661	検地書(豊太閣御印有之御祐筆建部伝内書)	書籍	A	1巻	J													右ハ亀山御家老坂部四郎右エ門様到来	
662	古釜蓋	茶道具類	J-j	1枚	J						55							正田善兵衛	
663	梵字古木剣(不動明王真言乎)	武具・刀装具類	E-f	1振	J						75							正田善兵衛	
664	時代角酒器(但唐児遊時絵)	酒器類	H-b		J						70							正田善兵衛	
665	唐物籠花生	花器類	L	1	C													右ハ京猪飼氏ニ到来	
666	中形鉄瓶(但共ふた)	茶道具類	J-f	1	J						90								
667	古代鍍右之蓋于別老枚求(二重付)	茶道具類	J-j		J						50								

668	明載文進虎画	美術工芸品類	M-h		C	4						嘉兵衛取次はりまや九兵衛兵衛	
669	平則経織(但伝来書有之)	武具・刀装具類	E-g	1	J	1	2					奥山取次	
670	菅公木造	その他の工芸品類	Q-f	1	J				21	5		正田善兵衛	
671	古代足付神供器(但胡粉塗)	その他の工芸品類	Q-f	1	J				7			正田善兵衛	
672	写白玉角肉入	文房具類	N-k	1	J							但文化十二年亥四月下旬岡村新兵衛仙台も持登贈候事	文化12年(1815)4月
673	蒸物籠(但苫ニテあみ候物也)	調度・什器類	G-e		J							文化十二年亥三月小林善四郎従筑前婦坂之御於彼地携帰り贈候事	文化12年(1815)4月
674	蘭製刺刀	武具・刀装具類	E-r	2丁	H				12	8		加賀屋忠兵衛	
675	吉野盆(但真塗朱絵)	調度・什器類	G-b	20人前	J	1						かさ屋宗兵衛	
676	銅毛彫野風爐(但挿花色絵もやう)	茶道具類	J-g		J							かさ屋宗兵衛 右之品村岡新兵衛へ贈	
677	保元時代軍用金匣	調度・什器類	G-h		J	1	2					正田善兵衛 文化十二亥九月御向へ贈	
678	銀小分量斗	医薬機器類	U		J				17	5		正田善兵衛	
679	唐物小籠匣(但懸子有之)	調度・什器類	G-e		C				17	5		正田善兵衛	
680	二重付吉野盆	調度・什器類	G-b	20人前	J	1						かさ屋宗兵衛	
681	交趾写平鉢(但黄葉人物獅子もやう)	調度・什器類	G-a		J				3			笠惣	
682	時代蒔絵小童酒次	酒器類	H-b	1	J							御向西遊之御為土産到来	
683	時代蒔絵小重	調度・什器類	G-b	1	J								文化12年(1815)10月
684	ノンコ作手塩皿	調度・什器類	G-a	10	J							右二品文化十二年亥十月上京之御猪飼氏ニテ貴婦	
685	順天観音像(白檀作スシ入)	仏像・仏具類	P-a		J		3					代金三歩外ニ繕銀三兩程	
686	時代浪扇蒔絵小形提重一組(内盃香盆共)	調度・什器類	G-b	1枚	J				245			奈良七	
687	孔雀全尾	標本	C-j		O				32			正田善兵衛	
688	銀和蘭笑面花タハコ入 二重ふた	喫煙道具類	I-d		H	2						江戸ニテ求ム付落	
689	根付小脇差	武具・刀装具類	E-c		J	1						東吾(五郎か)取次右富永氏エ贈る	
690	大徳寺形鉄瓶	茶道具類	J-f		J				28			かさ屋宗兵衛 右品猪飼幸之進殿へ贈ル	
691	朝顔蒔絵小弁当	調度・什器類	G-b		J	1	2					かさ屋宗兵衛	
692	大雅堂竹面懸もの(但大形白シケ表具)	美術工芸品類	M-a		J	2						はりまや九兵衛	
693	熊沢山鍾(ママ)石	標本	C-c		J							但曾根吉右エ衛門持婦	
694	南都大仏殿平瓦	標本	C-a	2	J							右ハ小右エ門(蟠桃)方太(左カ)助親元ニ有之候由ニテ取寄候吾候事	
695	春日形大石燈籠	調度・什器類	G-j		J				480				
696	同小形(右二本北のニ有之)	調度・什器類	G-j	1	J	1	1					竹久	
697	英一蝶ノリ壳画(但狂野有之)	美術工芸品類	M-a		J	1	2					奈良七	
698	時代蒔絵小杯(源氏絵)	調度・什器類	G-b		J				48			正田善兵衛	
699	駕籠煙鉢	喫煙道具類	I-c		J				35			京ひし太	
700	妙品 和蘭火燧(此品日本ニ只壹)	精密機器類?	S-c		H		3					江戸相与(相州松崎屋与兵衛)	
701	豹皮(但凡豹あれ共如是之皮無之ト云々)	標本	C-i		O	2	1						
702	福浦島竹矢筒	武具・刀装具類	E-r		J							右御国ニテ到来後造	
703	素弓	武具・刀装具類	E-g	1丁	J				28			荒川	

737	範頼公寄附千体阿弥陀仏	仏像・仏具類	P-a	1	J								右ハ布施庄兵衛 6 到来匣之内ニ書附有之	
738	青磁手桶成杯洗鉢	調度・什器類	G-a		J				13	5			かも角	
739	珍品 早廻り管鉦時計(但槽ニテ人形時計)	精密機器類	S-a		O	50							右者銅座役人仏物ニテはり吉取次、証文取置 外ニ老向取次へ口銭遣	
740	脇差作り煙管筒(但虫つくし彫)	喫煙道具類	I-b		J	1							疋田李兵衛 右之品壺次郎へ遣ス	
741	妙品 浮世絵懸物(松花堂筆)	美術工芸品類	M-c		J	7	2						疋田善兵衛 外ニ口せん金二分	
742	虫之ス亭メ	服飾類	F-b	1	J					8			疋田李兵衛	
743	菊絵磨出文箱(内梨子)	文房具類	N-d		J		2						かさ屋宗兵衛	
744	蝶蒔絵合引	文房具類	N-l		J					35			かさ屋宗兵衛	
745	春日大卓(但八足)	調度・什器類	G-b		J	2							疋田善兵衛	
746	時代蒔絵紋尺矢筒	武具・刀装具類	E-r		J								右者御向 6 到来也	
747	時代蒔絵合引	その他の工芸品類	Q-c		J		2						かさ屋宗兵衛	
748	志野片口香物鉢	調度・什器類	G-a		J		1						加ノ弥	
749	尾上鐘形釜	茶道具類	J-d		J					25			依屋竹吉	
750	隨身庭馬絵巻	美術工芸品類	M-b	1	J								但亀山軽森氏 6 到来	
751	青磁花生 天龍寺手(但獅子花瓶ヲ負形)	花器類	L		C					60			かさ屋宗兵衛	
752	モゴル物金糸 二重付 もやう服紗	茶道具類	J-h		O	1	2						疋田李兵衛	
753	青磁獅子卓下(但天龍寺手)	調度・什器類	G-a	1	C					60			かさ屋宗兵衛	
754	モヲル物服紗(但地赤海気糸織モヨウ縁金糸組物四方)	茶道具類	J-h		O	1	2						天平方則四李(疋田李兵衛)取次	
755	染付鯉水吹酒呑	酒器類	H-a		C		2	2					墨屋平兵衛	
756	霰中鉄瓶	茶道具類	J-f	1	J		1						かさ屋宗兵衛	
757	十府こも	服飾類	F-b	1枚	J								但木綿縁取寅十月清兵衛婦坂之砌到来	文政1年(1818)10月
758	小枕時計(千支出し)	精密機器類	S-a		O	10							疋田李兵衛	
759	梨子地秋艸中形肴重(桐外匣)	調度・什器類	G-b		J							代銀貳枚	かさ屋宗兵衛 跡 6 申付ル	
760	江戸製和製キヤマン小皿	調度・什器類	G-d	10	J					370				
761	バルケチー	その他の工芸品類	Q-h		O	7	2							
762	根付金作太刀(但源氏車紋有之)	美術工芸品類	M-m		J	4	1						御向取次	
763	唐津釜形鉢(但黒塗割蓋添)	調度・什器類	G-a		J					21	5		かさ屋宗兵衛	
764	モゴル物トンプリ	その他の工芸品類	Q-h		O								右者高一斎老 6 所贈	
765	江戸製キヤマン酒呑	酒器類	H-d		J					45				
766	唐物鳥籠	調度・什器類	G-e		C	1							出入宗七取次	
767	堆朱根付	美術工芸品類	M-m	1	J					38			匹田忠助	
768	朱細蒔絵吸物椀	調度・什器類	G-b	5	J							代銀四両	かさ屋宗兵衛	
769	妙品 竜等雁金古弓 乙印	武具・刀装具類	E-g	1張	J	2							荒川	
770	大古風鐔	その他の工芸品類	Q-d	1	J	2	1						疋田李兵衛	
771	時代桐蒔絵長文匣	文房具類	N-d		J		1						かさ屋宗兵衛	
772	朝鮮細竹	その他の工芸品類	Q-f	50本	K						53		疋田李兵衛	
773	玉薬花鳥絵懸物	美術工芸品類	M-a	1	K		1						依屋竹吉	
774	南蘋柳鴨絵懸物	美術工芸品類	M-h	1	C		1						依屋竹吉	
775	霰鉄瓶ふた	茶道具類	J-j	1	J					5			依屋竹吉	
776	万曆赤絵筒茶碗	茶道具類	J-a		C							代銀壹枚	墨屋平兵衛	

777	伽羅葉師像	仏像・仏具類	P-a	1	J	2							在京中寺丁光寺下田中伊兵衛方ニテ求	
778	白地古金襴(但打敷地也)	調度・什器類	G-f		J	3							右同人	
779	銀イカケ黒家具(但二膳椀付)	調度・什器類	G-c	20人前	J					300			富永弘物	
780	丸形鉄瓶	茶道具類	J-f	1	J					80			かさ屋宗兵衛	
781	大講堂形鉄瓶	茶道具類	J-f	1	J	2							かさ屋宗兵衛	
782	砂張建水	茶道具類	J-i	1	J	1							かさ屋宗兵衛	
783	妙品竜巻雁金古弓 甲印	武具・刀装具類	E-g	1	J	1	1	2					荒川	
784	豊公墨跡	美術工芸品類	M-k	1	J	2	2						御向取次	
785	獅子牡丹金物黒柿之匣(但金物後藤弟子彫)	調度・什器類	G-e		J					100			疋田李兵衛	
786	京細工也唐物青貝入肴台	調度・什器類	G-b	3	J					130			疋田李兵衛	
787	大雅堂蘭亭記懸物	美術工芸品類	M-a		J								はりまや九兵衛	
788	東山時代職籠(但菊桐并菊枝蒔絵)	調度・什器類	G-b	1	J					189			奈良七	
789	檳榔子新弓	武具・刀装具類	E-g	1張	O								但御向に仙台家ニ献上之余被贈下候事	
790	中形霰鉄瓶	茶道具類	J-f	1	J					25			右ハ鉄次郎工遣ス	
791	大間鍋(但蒔絵老杖添)	調度・什器類	G-c		J					20			かさ屋宗兵衛	
792	和蘭錦手中皿(但内ニ同もやう猪口老入)	調度・什器類	G-a	2	H					95			疋田李兵衛	
793	一時代鉄瓶	茶道具類	J-f	1	J							代銀武杖	奈良七	
794	南京菊染付中皿	調度・什器類	G-a	30	C					64	5		疋田李兵衛	
795	大霰鉄瓶	茶道具類	J-f	1	J					110			疋田善兵衛 但御向に到来外ニ時代唐金ふた老杖求ム	
796	雲竜鉄瓶	茶道具類	J-f	1	J	2	2						かさ屋宗兵衛	
797	珍品 暗計利亜時計(但三本針惣唐舂もやう)	精密機器類	S-a	1	U	40							井手斧次	
798	絵高麗小燈(但獅子人物之作り物)	調度・什器類	G-a	1	K							代銀武杖	墨屋平兵衛	
799	銅板摺更紗服紗(人物禽獸もやう)	茶道具類	J-h	1	O		2						井手斧次	
800	大時計クサリ(但長サ四間有之)	精密機器類	S-b	1筋	O	2							井手斧次	
801	青貝角卓(四足書ニ用ユル)	調度・什器類	G-b		O					85			疋田李兵衛	
802	南京染付敷板(但赤壁文有之)	調度・什器類	G-a		C					100			疋田李兵衛	
803	竜巻古素弓	武具・刀装具類	E-g	1張	J								右ハ文政三庚辰春就御入部御向為名代御出仙之朝日向様ニ此方工被下候由ニテ御持帰之事	文政3年(1820)
804	玉葉仕舞匣	調度・什器類	G-e		J								但甥御藤沢幾之亟様御手製之由右云々同断御所ニ被下	文政3年(1820)
805	御名日之出大盃	酒器類	H-e		J								但徹山様ニ御拝領之由ニテ右云々同断御所ニ被下	文政3年(1820)
806	松葉塗茶匣	茶道具類	J-c		J								但云々右同断 徹山様ニ御拝領之由ニテ阿部内膳様ニ被下	文政3年(1820)
807	青貝研屏	文房具類	N-h		J								右同断之砌此方工上ニ被下右ハ貞山君御坐右之品御代ニ御宝器ト唱事	文政3年(1820)
808	虫喰手杯台	調度・什器類	G-a		C					120			墨屋平兵衛	
809	朝鮮大火鉢	調度・什器類	G-c	1	K					500			疋田李兵衛	
810	長虎作大蟹花配	花器類	L		J					85			大五	
811	金無垢浪雲電毛彫鏢(四十二増かへ 懸目五拾六匁余有之)	武具・刀装具類	E-h		J			2		400			長浜屋文次	

812	道齋作大蟹(但江戸エ申付新調)	その他の工芸品類	Q-d		J	8	2													
813	徂徠墨跡	美術工芸品類	M-k		J	1	3													京辻田取次
814	興臥(以)猿面懸物	美術工芸品類	M-h		J	3														依屋竹吉
815	大アンペラ	その他の工芸品類	Q-h	1枚	O	2	3													
816	新渡南京染付大花生	花器類	L		C							200								正田李兵衛
817	珍品南京古染附	調度・什器類	G-a		C							145								墨屋平兵衛から美鉢
818	和蘭硝子猪口	酒器類	H-d	30	H							80								正田李兵衛
819	奇毛鉢もの	調度・什器類	G-f		O	1	3													正田李兵衛
820	古染付からミ鉢(二重付)	調度・什器類	G-a		C							145								墨屋平兵衛
821	あられ大鉄瓶	茶道具類	J-f	1	J	1														かさ屋宗兵衛
822	古染付猪口	酒器類	H-a	5	J							86								正田李兵衛
823	中叡鉄瓶	茶道具類	J-f	1	J		2													かさ屋宗兵衛
824	南京角蓋もの	調度・什器類	G-a		C							28								正田
825	南京染付角手鉢	調度・什器類	G-a		C													代銀式枚		加賀屋忠兵衛
826	鉄菊桐もやう風爐	茶道具類	J-g		J													代銀老枚		かさ屋宗兵衛
827	御矢屏風	美術工芸品類	M-e	1双	J															但青貝塗腰板之品 御紋付 右 ハ文政四年辛巳三月大松沢丹宮 殿御出板之砌屋形縁々拝領之事
828	暗計兎壺時計(但蓋飛出三本針早廻裏瑠璃白絵もやう)	精密機器類	S-a		U	30														井手斧次
829	暗計兎壺製遠眼鏡(但鏡筒)	視測機器類	R-c		U	12														正田李兵衛
830	暗計兎壺製硝子画類(但人物三人有之)	美術工芸品類	M-j		U							70								正田李兵衛
831	花鳥彫堆朱香盒	香道具類	K-a		C							50								墨屋平兵衛
832	南京額成形焼物皿	調度・什器類	G-a	20人前	C							120								加賀屋忠兵衛
833	探雪竹之画懸物	美術工芸品類	M-a	1幅	J													代銀南鐘老片		依屋竹吉 外ニ表具打懸料別也
834	羅經(径か)道光新渡(細字羅經ニカカル)則磁石ナリ	視測機器類	R-e	1盤	O	1														義兵衛取次
835	躑風爐(但廻り人物高彫)	茶道具類	J-g	1	J							60								正田李兵衛
836	新渡堆朱杯台	調度・什器類	G-b	1	C	1	1													右之品文政壬午安治義兵衛仙之 砌及川氏へ贈ル
837	金地中屏風(但春秋坤花小鳥類極彩色)	美術工芸品類	M-e	1双	J	6	2													
838	時代短刀身櫛(但頭鑑杜身唐舂 目貫五三桐)	武具・刀装具類	E-d		J	9	2													長左(消、又か)右之品壬午閏正 月返し與候由ニテ代金受取也
839	葵御紋二所	調度・什器類	G-b		J															文政四年辛巳九月從川越俣拝領 竹田升殿云々御演舌之事委曲川 越一件有之
840	和蘭藍絵猪口	酒器類	H-a	1	H	1	2													加賀屋忠兵衛
841	和蘭も一き焼手附あけ	調度・什器類	G-a		H		1					2								正田李兵衛
842	和蘭藍絵盃台	酒器類	H-a	1	H							23								正田李兵衛
843	和蘭貝形皿	調度・什器類	G-a	2	H	1	2													加賀屋忠兵衛
844	叡四方鉄瓶	茶道具類	J-f	1	J	1	1													かさ屋宗兵衛
845	時代剥蜜柑鉄瓶	茶道具類	J-f		J													代銀老枚		かさ屋宗兵衛
846	青磁観音置もの	仏像・仏具類	P-a		J													代金千疋		かさ屋宗兵衛
847	梅鴨懸物	美術工芸品類	M-a	1幅	J													代銀四両		依屋竹吉 右戸田様へ献上

848	神品香盒管絃時計(但文政五年壬午参行之蘭人加比丹所持之由同三月廿七日銅坐着之御得ル 但受取書有之)	精密機器類	S-a	1	O	55												正田奎兵衛	文政5年(1822)3月
849	蘭之藍絵手付火入	調度・什器類	G-a		H							60						正田奎兵衛	
850	更紗服紗地	服飾類	F-b	1	O							52	5					正田奎兵衛	
851	肥前亀山焼火入	花器類	L	1	J							30						正田奎兵衛	
852	新渡金焼付和蘭時計クサリ	精密機器類	S-b	2	H							290							
853	緞子形もやう鉄瓶	茶道具類	J-f		J						2							かさ屋宗兵衛	
854	椀桶形鉄瓶(椀一ニ茶ニ作ル)	茶道具類	J-f		J						2							かさ屋宗兵衛	
855	和蘭硝子画(左右像ニ乗虎カリ ムスコピア人ソール取)	美術工芸品類	M-j	3枚	H													正田	
856	和蘭両面紅地もやう服紗	茶道具類	J-h		H													加賀屋忠兵衛	
857	蘭本武巻(但老巻幻術輕業等之記画入 老巻虚談之記并画入ニ卷 小本)	書籍	A	2卷	H													正田	
858	惣金地中屏風(但極彩色春秋艸花小鳥之画)二重附	美術工芸品類	M-e	1双	J	6	2											才助取次	
859	古染付沙吹鯛酒呑	酒器類	H-a		C						2	2						加賀屋忠兵衛	
860	時代根来狸々酒器	酒器類	H-b		J								35					かさ屋宗兵衛	
861	梨子地香包時絵研箱	文房具類	N-g		J													代銀老杖 かさ屋宗兵衛	
862	躰菊桐もやう燗鍋 五郎三作	調度・什器類	G-c		J													代銀老杖 奈良七	
863	亀もやう鉄瓶	茶道具類	J-f		J						2							奈良七	
864	梅形鉄瓶	茶道具類	J-f		J													奈良七	
865	銅菊毛彫水次	調度・什器類	G-c		J													正田	
866	西洋器開關之図(但大横もの石川七左エ門殿画)	美術工芸品類	M-g		O													はりまや九兵衛	
867	魯西亜人鉄砲打之図赤絵服紗	茶道具類	J-h		O						3	2						井手斧次	
868	妖野ノ五品	その他の工芸品類	Q-h		J													東五郎取次	
869	上品二切鮫	武器・刀装具類	E-o		O													長佐	
870	桐紋時代小柄	武器・刀装具類	E-j		J	1	1											長佐	
871	桐紋時代掬頭	武器・刀装具類	E-m		J	1	3											長佐	
872	青貝箱(但桐紋太刀形鑲并老輪栗形裏瓦楽器色絵)	武器・刀装具類	E-k		J	2	2											長佐	
873	金無垢桐紋目貫	武器・刀装具類	E-i		J													長佐	
874	南京水梅平鉢	調度・什器類	G-a	5	C													加賀屋忠兵衛	
875	南京瑠璃地宝画同	調度・什器類	G-a	3	C													正田奎兵衛	
876	妙品暗計兎亜小千里鏡(但銀五ツ筒突出シ)	視測機器類	R-c		U						6							ひき銀	
877	キヤマン硝子菓子鉢	調度・什器類	G-d	1	O													ひき銀	
878	万曆赤絵鴛鴦香爐(銀等申付)	香道具類	K-b		C													墨屋平兵衛	
879	朱松蔭絵杯	酒器類	H-b	1	J													奈良七	
880	時計鎖先ヲルコル	楽器類	O-d		O						7							井手斧次	
881	フロイトヲルコル(但管絃匣ト訳)	楽器類	O-d		O						18							正田(正田奎兵衛)取次 但受取書有之	
882	霰鉄瓶(但銚子也 但卍形有之共ふた釜師清右衛門作)	茶道具類	J-f		J													墨屋平兵衛	
883	妙品時計鎖先也 笑画オルコル	楽器類	O-d		O						12							正田(正田奎兵衛)取次 但受取書有之	
884	時代華桐紋龜松竹蔭絵小匣(研箱ニ用ユ)	調度・什器類	G-b		J	2	2											かさ屋宗兵衛	
885	祥瑞湯呑茶碗	茶道具類	J-a	1	C	3												かさ屋宗兵衛	
886	美人画三組盃	酒器類	H-b	2組	J													墨屋平兵衛	
887	硝子両口砂糖入	調度・什器類	G-d	1	O													加賀屋忠兵衛	

888	霰鉄瓶(但丸形)	茶道具類	J-f	1	J					30			墨屋平兵衛(右文政七申八月源助遺ス)	
889	青磁浮牡丹大海茶入	茶道具類	J-b		C							代銀三枚	墨屋平兵衛	
890	南京藍竜画茶碗	茶道具類	J-a	20	C					25			加賀屋忠兵衛	
891	南京藍無地茶碗	茶道具類	J-a	40	C					10			加賀屋忠兵衛3匁5分かえ	
892	硝子切り小蓋物(但蘭製匙台を右ニ申付)焼酎匣入	調度・什器類	G-d		O					190			代銀百六拾目但彫刻料三拾匁ノ百九拾目 正田李兵衛	
893	唐磨(但蒲萄猿虫画彫刻)	調度・什器類	G-c		C			3					加賀屋忠兵衛 右ハ小右エ門(蟠桃)へ贈	
894	白高麗観音像	仏像・仏具類	P-a		K					38			正田李兵衛	
895	雪ほふし	調度・什器類	G-k		J					15			正田李兵衛	
896	暗計児巫製小千里鏡	観測機器類	R-c	1	U	1							正田李兵衛	
897	南京三人子湯呑	調度・什器類	G-a	2組	C					17			正田李兵衛	
898	硝子キヤマン彫徳利(焼酎匣入)	酒器類	H-d		O	5							正田李兵衛	
899	南京染附茶入 霰形(但人物之もやう)	茶道具類	J-b		C					17			正田李兵衛	
900	古和蘭水家鉢	調度・什器類	G-a		H		2	2					依屋竹吉	
901	瓢成コヨリ細工酒入(金ハク置)	酒器類	H-e		J					10			大江橋道具や	
902	常信富士絵	美術工芸品類	M-a		J					28			正田李兵衛 此品富市へ遺	
903	珍品時代鉄瓶(銘北野)	茶道具類	J-f		J	1							かさ屋宗兵衛 但外ニ時代鍔蓋老枚払	
904	新渡枯枝香盒	香道具類	K-a	2	J					75			正田	
905	珊瑚玉入時計袋	精密機器類	S-b	2	J					75			正田	
906	葉手鉄釜	茶道具類	J-e	1	J					55			奈良七	
907	時代源氏図式枚屏風	美術工芸品類	M-e		J		2						依屋竹吉	
908	笑絵入時計鏝(但流金唐紳仕立)	精密機器類	S-b	1	O					35			正田	
909	新渡扇子形香盒(但馬之染付)	香道具類	K-a	1	C					15			正田李兵衛	
910	妙品フロイトヲルコル(但蓋もやう有之人物禽獸)	楽器類	O-d		O	22							正田	
911	青磁鴨小形香爐	香道具類	K-b		J		2	2					かさ屋宗兵衛	
912	中渡染付重猪口	酒器類	H-a	2	C					17				
913	和蘭艸花画酒吞猪口	酒器類	H-a	21組又老ノ三	H					75				
914	和蘭白銅盆	調度・什器類	G-c	11	H					275				
915	堆朱小卓	調度・什器類	G-b	4ノ四点	J	1	2						加賀屋忠兵衛	
916	古金類	調度・什器類	G-c		J					262			但角兵衛御国ノ持帰候買上ニいたす事	
917	和蘭艸花画帗	美術工芸品類	M-i	4枚	J								右ハ義兵衛長寄ニテ到来之由ニテ贈	
918	白葉繡(但懸目百目余有之)	調度・什器類	G-c		O					470			奈良七	
919	堆朱六角菓子重	調度・什器類	G-b		J	4							加賀屋忠兵衛	
920	暗計児巫製車通(但木兎鷲艸花もやう)	調度・什器類	G-f		U	4	3						正田	
921	成化染付酒吞猪口	酒器類	H-a		C	3							奈良七	
922	車通切地(ふとん二用 但ふとふ模様)	調度・什器類	G-f		O					30			正田	
923	御国灰吹銀(懸目百五十七匁七分但宅増半替)	調度・什器類	G-c		J					236	5分5厘		右ハ文政六年未暮山中庄兵衛携帰候故納戸方ニテ取置候事	文政6年(1823)暮
924	香盒時計(但私良察製式人左右ニ立押打)妙品	精密機器類	S-a		J	36	2						正田李兵衛	
925	天猫作鉄風爐(外ニ庄兵衛作五徳添)	茶道具類	J-g		J	2							加賀屋忠兵衛	
926	小敷手鉄釜 唐鏡蓋	茶道具類	J-e		J					35			かさ屋宗兵衛	
927	中形鉄瓶(唐鏡ふた二枚添 浄味)	茶道具類	J-f		J					50			加賀屋忠兵衛	

973	和蘭革細工印籠	美術工芸品類	M-o		H											右者就家督正左(疋田李兵衛) 6 到来	文政9年(1826)4月
974	古作荒磯鉄瓶	茶道具類	J-f		J									代銀老枚	かさ屋宗兵衛		
975	極彩色武者(但榮川策)	美術工芸品類	M-a	幅対	J	13									善四郎取次		
976	大更紗敷もの	調度・什器類	G-f	3幅対	O						280				疋田李兵衛		
977	銀払良察時計	精密機器類	S-a		F	7	2								右之品方策老へ亥八月廿三日贈		
978	ヲゴ(ヲルゴル)××再求(但蓋人物如前少大フリ)	楽器類	O-d		O	18									加賀屋忠兵衛 右之品及川斎殿 へ贈		
979	磁石計鍔ふた 小形	観測機器類	R-d		O						15				加賀屋忠兵衛		
980	周山画雪舟写山水絵懸もの	美術工芸品類	M-a		J	1		2							かさ屋宗兵衛		
981	青銅風爐(居間ニ常用)	茶道具類	J-g		J	4									加賀屋忠兵衛		
982	銀時計(但暗計兎壺製 子ウエレン作)	精密機器類	S-a		U	6	1								加賀屋忠兵衛		
983	鍔小手爐(但松竹梅もやう)	茶道具類	J-j		J		2	2							かさ屋宗兵衛		
984	鉄火燵(ママ)(蘭人シイボル(ママ)所持)	調度・什器類	G-c		J										文政九年戊三月参向之砌高一斎 老讓被與候事	文政9年(1826)3月	
985	真塗大丸弁当(但菊小籠もやう 懸子 盆二枚分匣 案)	調度・什器類	G-b		J							90			かさ屋宗兵衛		
986	白茶瓶	茶道具類	J-b	4品	J				1		147	5			奈良七 代銀九百匁四分式厘 掛目式百九匁四分有之 老々ニ 付四匁三分 後改四匁分かへ 替 右之品相返し左之通改相求 事勘定書 覚 一一貫三百三拾 匁 三八かへ 野風爐 目方三 百五拾目 一七五拾匁 たん ほ式ツ 猪口式ツ 四品 代 々式貫八拾匁 内 一八百目		
987	銀写匙	調度・什器類	G-c	5本	J							21	5		加賀屋忠兵衛		
988	菊桐紋野風爐(但内タンホ銚子添)	茶道具類	J-g		J							159			大五		
989	羊皮胴着	服飾類	F-a		O	6									加賀屋忠兵衛		
990	天猫手執釜	茶道具類	J-e		J	2									加賀屋忠兵衛		
991	古渡金唐草(但江戸ニテ匣ニ申付事)	調度・什器類	G-g	1	O	3									疋田李兵衛		
992	古染付杯台(但櫻欄竹之もやふ)	酒器類	H-a	1	C							25			かさ屋宗兵衛		
993	和蘭白木綿足メリヤス	服飾類	F-b		H								30		疋田李兵衛		
994	小黄玉クサリ	精密機器類	S-b	1懸	O	5									加賀屋忠兵衛		
995	払良察製小千里鏡(但入子ニテ紫水晶鏝有之)	観測機器類	R-c		F	5	2								疋田李兵衛		
996	射胡 福山嘉兵衛作	武具・刀装具類	E-g	1丁	J	1	2								平井氏取次		
997	時代太刀頭(但金絵菊籠もやう)	武具・刀装具類	E-m		J										長浜屋文次		
998	金無垢艸花目貫	武具・刀装具類	E-i		J										長浜屋文次		
999	東鑑	書籍	A	25巻	J	2									加賀屋善藏		
1000	和蘭金花絵花器(但艸花もやう角台)	花器類	L		H	2	3								疋田李兵衛		
1001	四季作花 花林作	その他の工芸品類	Q-h		J	2											
1002	外科道具一式(但紅革外包和帯入仕立内萌黄革金絵 入)	医薬機器類	U		O	4	3								加賀屋忠兵衛		
1003	因果居士懸物(但昔公神話)	美術工芸品類	M-a		J									代銀老枚	奈良七		
1004	天龍寺手青磁徳利	酒器類	H-a		J	1		2							かさ屋宗兵衛		
1005	革細工コークル(但内石筆硝子小徳利入)	調度・什器類	G-g		O	1	2								源八取次		
1006	雲上織本図絵	書籍	A	全9巻	J	2	2								源助取次		
1007	蘭焼徳利	酒器類	H-a	6	H							15			加賀屋忠兵衛		

1008	英一蝶夕立之画(但横もの)	美術工芸品類	M-a		J	1	2	2				奈良七
1009	天猫手執釜	茶道具類	J-e		J				55			奈良七
1010	天雅堂鼠嫁入之図懸もの	美術工芸品類	M-a		J	2						角兵衛取次
1011	銀鼠胴着(表黒)	服飾類	F-a		J	1	1					加賀屋忠兵衛
1012	和蘭硝子造花入	花器類	L		H		2	2				加賀屋忠兵衛
1013	和蘭硝子入石細工物	その他の工芸品類	Q-e		H				15			正田李兵衛
1014	笑ヲルコル 裏はアクル方	楽器類	O-d		O	20						正田李兵衛
1015	和蘭硝子入動物形	その他の工芸品類	Q-b		H	2						正田李兵衛
1016	妙品 天猫作戴手執釜	茶道具類	J-e		J	5						加賀屋忠兵衛
1017	二十六地獄画卷(但法橋春ト筆)	美術工芸品類	M-b		J				35			外ニ巻物仕立代沢田代三十八匁
1018	然可翁朽木口鳥画	美術工芸品類	M-a		J		3	2				清兵衛取次
1019	妙品 薄金製笑ヲルコル	楽器類	O-d		O	20						加賀屋忠兵衛
1020	唐物角香籠	調度・什器類	G-e		C	1						加賀屋忠兵衛
1021	北窓瑣談	書籍	A	2部8巻	J	23	5					加賀屋善藏
1022	弘良察木台時計(但輪視)	精密機器類	S-a		F	6						加賀屋忠兵衛
1023	銀茶瓶	茶道具類	J-b		J				835			奈良七懸目百七拾八匁有之
1024	妙品 青磁酒呑猪口	酒器類	H-a		C	5	2					加賀屋忠兵衛
1025	珍品 和蘭扇子(但小形象牙骨画有之)	その他の工芸品類	Q-h		H	1	2					正田李兵衛
1026	時代猿もやう手執釜	茶道具類	J-e		J				55			奈良七
1027	金無垢壺笠目貫 後藤光保作	武具・刀装具類	E-i	1組	J				180			長作
1028	時代戴小手執釜	茶道具類	J-e	1	J				35			加賀屋忠兵衛
1029	桐色絵喰出鏝	武具・刀装具類	E-h	1	J	2						山城屋
1030	二切鮫	武具・刀装具類	E-o		O	3						山城屋
1031	珊瑚珠数大玉	その他の工芸品類	Q-h	108	J	38						正田李兵衛
1032	砂金石玉	標本	C-c	4	J				100			
1033	笑絵巻物 口月筆	美術工芸品類	M-b		J		2					
1034	南京染付トシ	調度・什器類	G-a		C	5						加賀屋忠兵衛
1035	ロントシ銀蓋時計	精密機器類	S-a		U	12						但出入佐助棹嘉吉ニテ求
1036	大躰砂鉢	その他の工芸品類	Q-h		J	18						大五
1037	ヲルコル	楽器類	O-d		O	12	2					加賀屋忠兵衛

合計 1686 564 119 21 24732 332